

忠岡町環境に関するアンケート調査及び事業者  
ヒアリング報告書

## 目次

1	調査概要 .....	1
2	住民アンケート調査結果 .....	2
3	事業者アンケート調査結果 .....	24
4	事業者ヒアリング結果 .....	41
5	住民アンケート調査票 .....	44
6	事業者アンケート調査票 .....	53

# 忠岡町の環境に関するアンケート調査結果

## 1 調査概要

### (1) 目的

環境や地球温暖化に対する住民、事業者の意識、取組の実施状況、町の環境施策に対するニーズを把握し、「忠岡町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向けた基礎資料とすることを目的として、住民、事業者を対象にアンケート調査を実施しました。

### (2) 調査対象・調査期間・回答数

#### ア 住民アンケート調査

調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の住民1,250名
調査期間	2025年9月22日～2025年10月15日
調査方法	二次元バーコードを貼付した調査票を郵送にて配布し、WEB上と紙媒体のいずれかで回収
回答数・回答率	508件・40.6%

#### イ 事業者アンケート

調査対象	忠岡町内事業者から無作為抽出した155社
調査期間	2025年9月22日～2025年10月15日
調査方法	二次元バーコードを貼付した調査票を郵送にて配布し、WEB上と紙媒体のいずれかで回収
回答数・回答率	44件・28.3%

本報告書における割合等の数値は、小数点第1位まで算出し、四捨五入しています。そのため、項目ごとの百分率を合計した際に、合計値が100%と一致しない場合があります。

### 【回答データ入力時の処理】

アンケート入力にあたって、以下のように回答の整合処理を行っています。

設問が「1つのみ選択」の場合に複数の選択があった回答

→ 番号の若い回答を1つ採用し、その他の選択は無効とした。

設問が「3つまで選択可」の場合に、4つ以上選択されていた回答

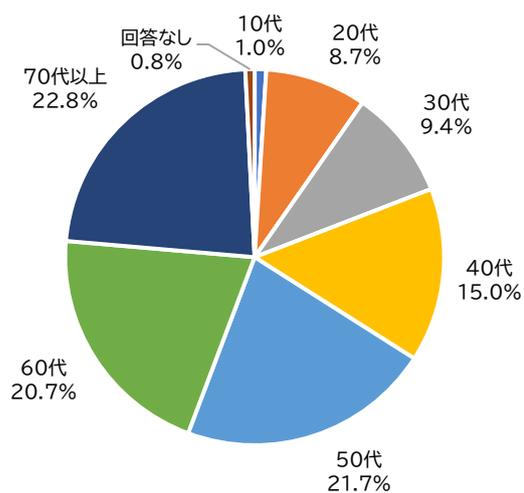
→ 番号の若い順に3つを採用し、それ以外の選択は無効とした。

## 2 住民アンケート調査結果

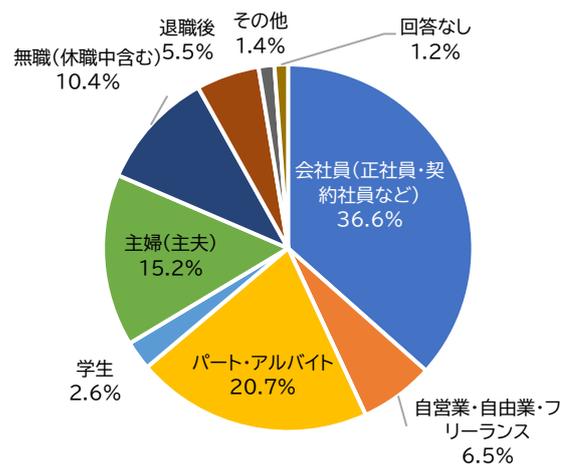
【質問1】 ご回答者について、該当するものをお選びください。

(回答数=508)

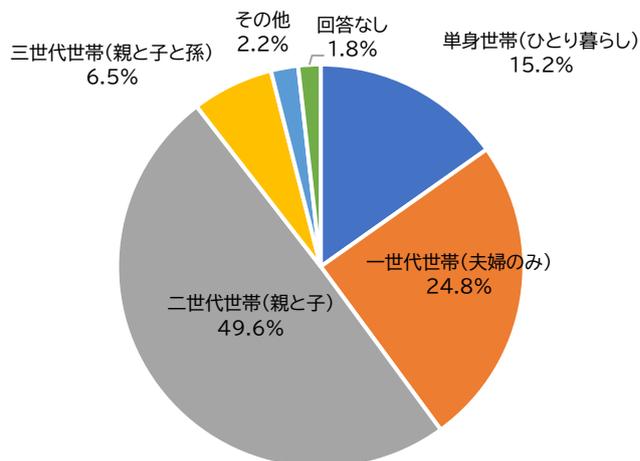
① 年代



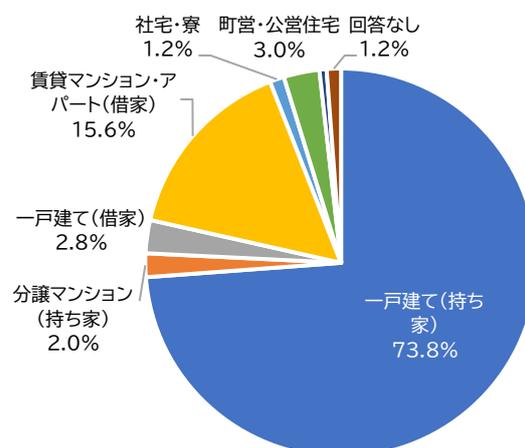
② ご職業



③ 世帯人数(回答者を含む)



④ 住居形態



**【質問2】** あなたはどのような環境問題に関心がありますか。

(該当するものを3つまで選択)。

(回答数=508)

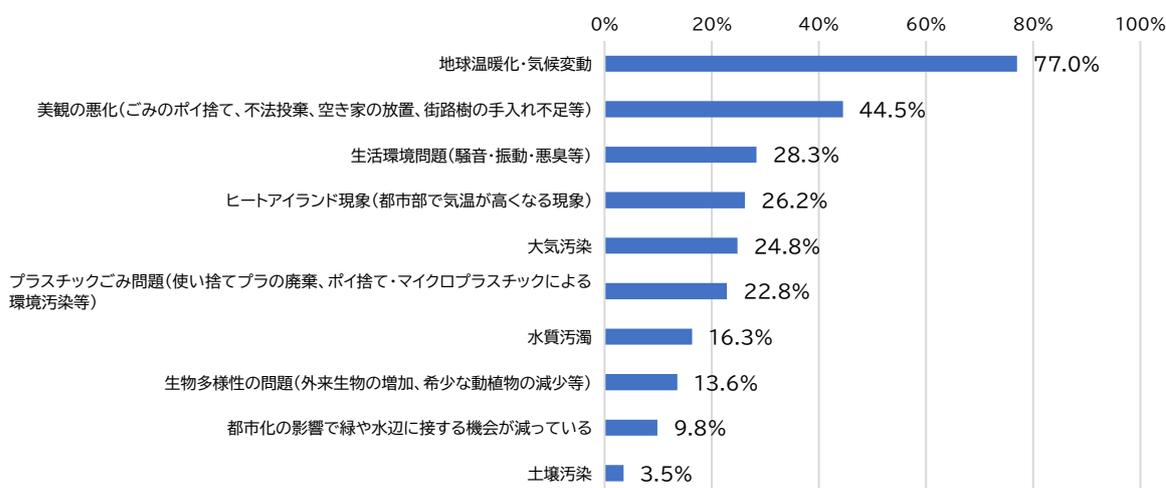
・関心のある環境問題として最も多く挙げられたのは「地球温暖化・気候変動」で77.0%に上り、多くの住民が地球規模の環境変化に強い関心を抱いていることが分かった。次いで「美観の悪化（ごみのポイ捨て、不法投棄、空き家の放置、街路樹の手入れ不足等）」が44.5%、「生活環境問題（騒音・振動・悪臭等）」が28.3%となり、地域の身近な環境課題にも一定の関心が集まっている。

全体として、地球規模の課題と地域の日常生活に密接した環境問題の双方に関心が分かれており、環境への意識は幅広い分野に及んでいることがうかがえる。

今後は、地球温暖化のような大きなテーマを地域の暮らしと結びつけて理解できるよう、身近な行動の効果や地域課題との関連を分かりやすく伝える取組が重要である。

選択肢 10 種類

1. 地球温暖化・気候変動
2. ヒートアイランド現象（都市部で気温が高くなる現象）
3. 大気汚染
4. 生活環境問題（騒音・振動・悪臭等）
5. 水質汚濁
6. 土壌汚染
7. 生物多様性の問題（外来生物の増加、希少な動植物の減少等）
8. 美観の悪化（ごみのポイ捨て、不法投棄、空き家の放置、街路樹の手入れ不足等）
9. プラスチックごみ問題（使い捨てプラの廃棄、ポイ捨て・マイクロプラスチックによる環境汚染等）
10. 都市化の影響で緑や水辺に接する機会が減っている



【質問3】あなたは環境問題についてどのように考えますか。

(回答数=508)

・環境問題に対する考え方については、「自分ができる範囲で取り組みたい」と回答した人が50.8%と最も多く、半数以上の住民が身近な行動による取組を前向きに考えていることが分かった。

次いで「自分にもできることをしたいが、何に取り組むべきかわからない」が18.5%、「自分ができることは積極的に取り組みたい」が12.4%となり、全体として多くの住民が環境保全への関心を持ちながらも、具体的な行動方法に悩んでいる様子が見える。

この結果から、住民の多くは環境問題を“自分ごと”として認識しているが、具体的な行動につながっていないことが課題と考えられる。

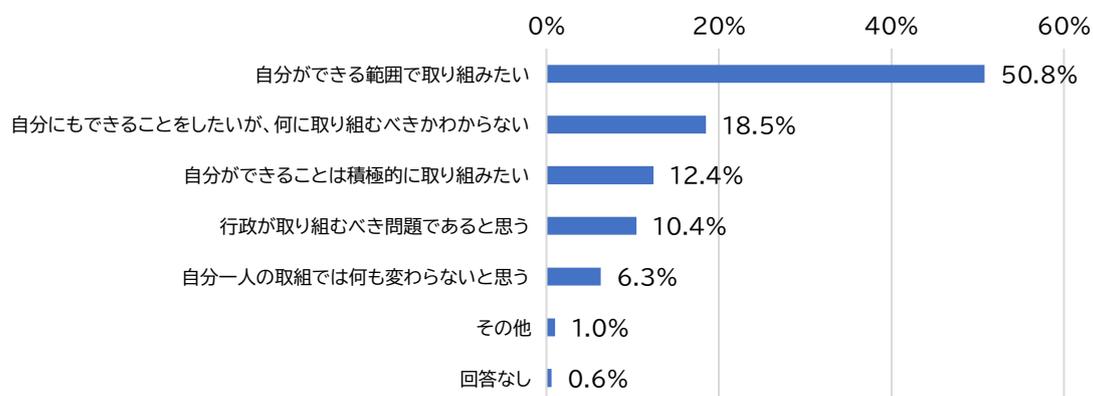
今後は、町として住民が身近な生活の中で実践できる取組例や効果を分かりやすく発信し、行動への後押しを図ることが求められる。

#### 選択肢6種類

1. 自分ができることは積極的に取り組みたい
2. 自分ができる範囲で取り組みたい
3. 自分にもできることをしたいが、何に取り組むべきかわからない
4. 自分一人の取組では何も変わらないと思う
5. 行政が取り組むべき問題であると思う
6. その他 ( )

#### ・その他回答

1人ではなくみんなでしょう。
国、地方行政、個人が一本となって取り組むべき
レジ袋有料化は国民が不便になっただけ
行政も一人一人が取り組まないと
自分も行政も相方の取組が必要



【質問 4】身近な地域で、ここ数年間でどのような気候の変化による影響が生じていると思いますか。(複数回答可)

(回答数=508)

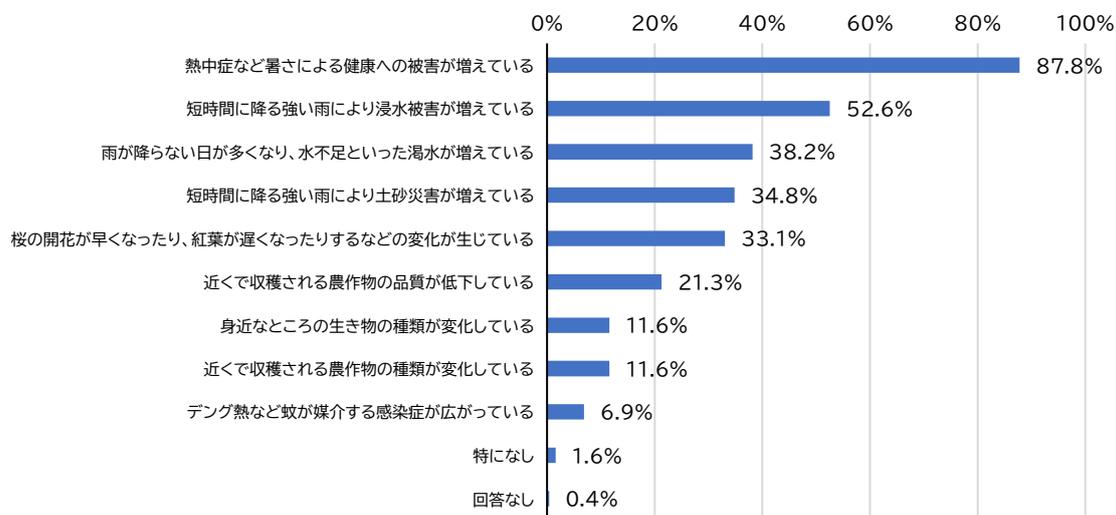
・身近な地域で感じる気候変動の影響として最も多く挙げられたのは、「熱中症など暑さによる健康への被害が増えている」で 87.8%に上り、多数の住民が気温上昇の進行を実感していることが分かった。次いで「短時間に降る強い雨により浸水被害が増えている」(52.6%) や、「雨が降らない日が多くなり、水不足といった渇水が増えている」(38.2%) が続き、異常気象の頻発や降水パターンの変化への懸念も広く共有されている。

全体として、気候変動の影響を「健康」「災害」「自然環境」の多方面で実感する傾向が明らかとなった。

今後は、熱中症対策や水害対策などの防災・健康分野に加え、気候変動の影響を地域全体で共有し、身近な対策につなげる啓発を強化していくことが求められる。

#### 選択肢 10 種類

1. 熱中症など暑さによる健康への被害が増えている
2. デング熱など蚊が媒介する感染症が広がっている
3. 短時間に降る強い雨により浸水被害が増えている
4. 短時間に降る強い雨により土砂災害が増えている
5. 雨が降らない日が多くなり、水不足といった渇水が増えている
6. 近くで収穫される農作物の種類が変化している
7. 近くで収穫される農作物の品質が低下している
8. 桜の開花が早くなったり、紅葉が遅くなったりするなどの変化が生じている
9. 身近なところの生き物の種類が変化している
10. 特になし



【質問5】あなたは次の環境に配慮した取組を行っていますか。

(回答数=508)

・日常生活における環境配慮行動のうち、実践率が最も高かったのは「ゴミやたばこの吸い殻をポイ捨てしない」で93.1%と、マナー意識の定着が非常に高い結果となった。次いで「ごみの分別を心がけている」(90.4%)、「買い物時にエコバッグを使用する」(86.4%)、など、身近で実行しやすい行動が広く浸透していることが分かる。

一方で、「環境に関するイベントや活動に参加する」(7.9%)や「テレワークを取り入れている」(8.5%)など、生活様式や地域活動に関わる取組は実践率が低く、「今後取り組みたい」とする回答が多く見られた。

また、「環境に関するイベントや活動に参加する」(47.6%が今後取り組みたい)からは、関心はあるものの、実践には至っていない層が一定数存在することが分かる。

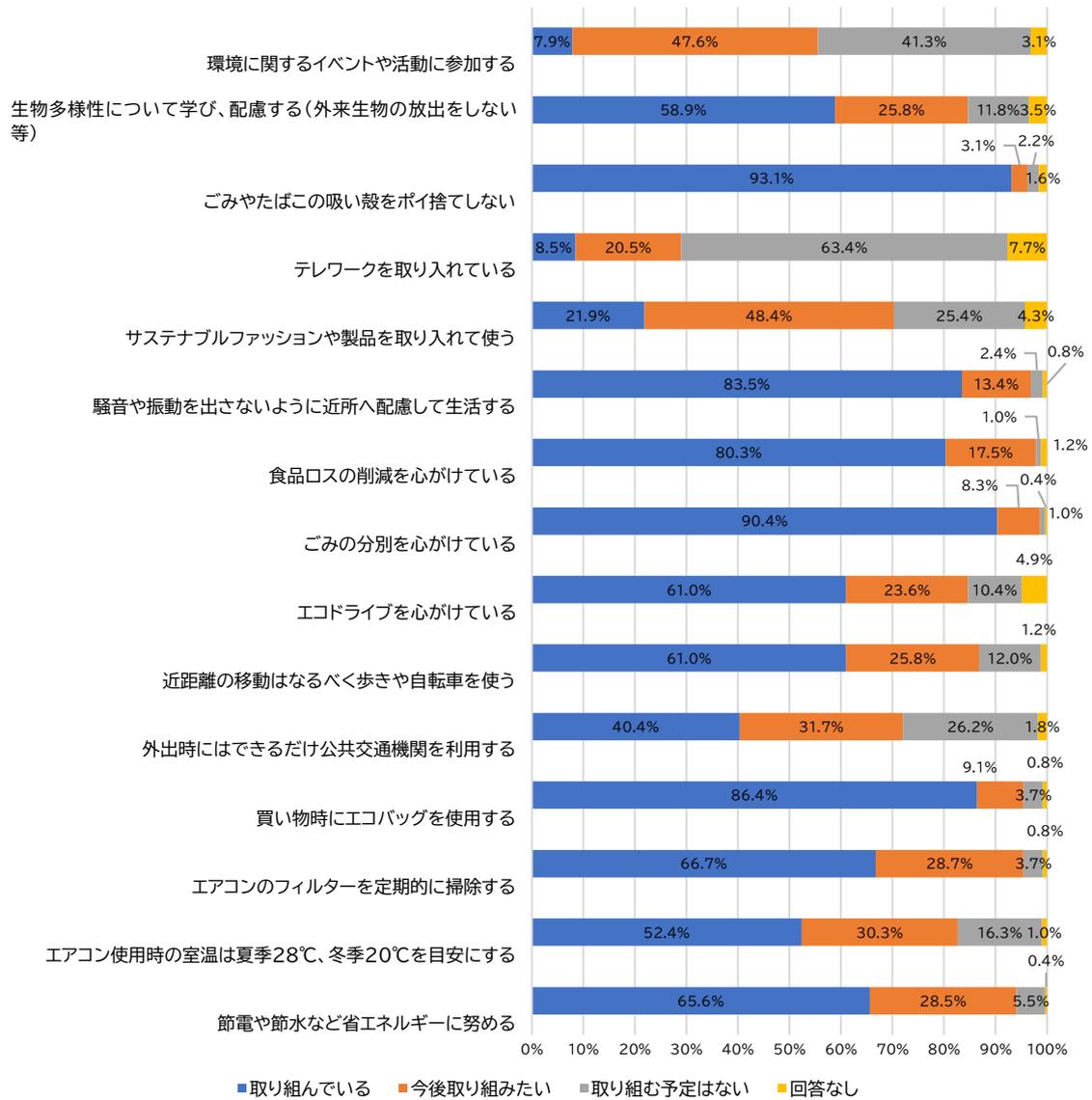
これらの結果から、住民は日常的な行動レベルでの環境配慮には積極的である一方、地域活動や学習を通じた取組は今後の課題といえる。町としては、既に定着している行動をさらに発展させるとともに、地域ぐるみで参加しやすい活動や啓発機会を設けることで、より主体的な取組の拡大が期待される。

#### 取組内容

- ① 節電や節水など省エネルギーに努める
- ② エアコン使用時の室温は夏季28℃、冬季20℃を目安にする
- ③ エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- ④ 買い物時にエコバッグを使用する
- ⑤ 外出時にはできるだけ公共交通機関を利用する
- ⑥ 近距離の移動はなるべく歩きや自転車を使う
- ⑦ エコドライブを心がけている
- ⑧ ごみの分別を心がけている
- ⑨ 食品ロスの削減を心がけている
- ⑩ 騒音や振動を出さないように近所へ配慮して生活する
- ⑪ サステナブルファッションや製品を取り入れて使う
- ⑫ テレワークを取り入れている
- ⑬ ゴミやたばこの吸い殻をポイ捨てしない
- ⑭ 生物多様性について学び、配慮する(外来生物の放出をしない等)
- ⑮ 環境に関するイベントや活動に参加する

#### 選択肢3種類

1. 取り組んでいる
2. 今後取り組みたい
3. 取り組む予定はない



【質問6】あなたは次のような再生可能エネルギー・省エネルギー設備等を導入していますか。(追加あり)

(回答数=508)

・再生可能エネルギー・省エネルギー設備等の導入状況を見ると、「LED照明」の導入率が最も高く71.5%に達しており、多くの世帯で照明の省エネ化が進んでいることが分かる。次いで「省エネルギー家電」(42.5%)といった身近で導入しやすい機器を中心に一定の取組が見られた。一方で、「太陽光発電システム」(7.7%)や「蓄電池」(5.5%)、といった再生可能エネルギー関連設備の導入は比較的低調であった。

導入が進まない理由としては、「初期コストがかかる」「借家や集合住宅のため」といった制約が多く見られ、経済的・居住環境的な要因が大きいことがうかがえる。

これらの結果から、照明や家電など日常的な省エネ対策は広く定着している一方で、再生可能エネルギー設備の導入はまだ限定的であることがわかる。

今後は、補助制度や導入事例の周知を通じて、初期費用や設置条件の不安を軽減し、より多くの世帯での導入を促進していくことが重要である。

#### 取組内容

- ① 太陽光発電システム
- ② 太陽熱システム
- ③ 蓄電池
- ④ 再生可能エネルギー由来の電力プランの選択
- ⑤ 家庭用燃料電池(エネファーム)
- ⑥ ヒートポンプ式給湯器(エコキュート)
- ⑦ 潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)
- ⑧ 高断熱・高気密の省エネ住宅
- ⑨ LED照明
- ⑩ 省エネルギー家電
- ⑪ CEV(電気自動車、燃料電池車、ハイブリッド車)

#### 選択肢6種類

導入済み

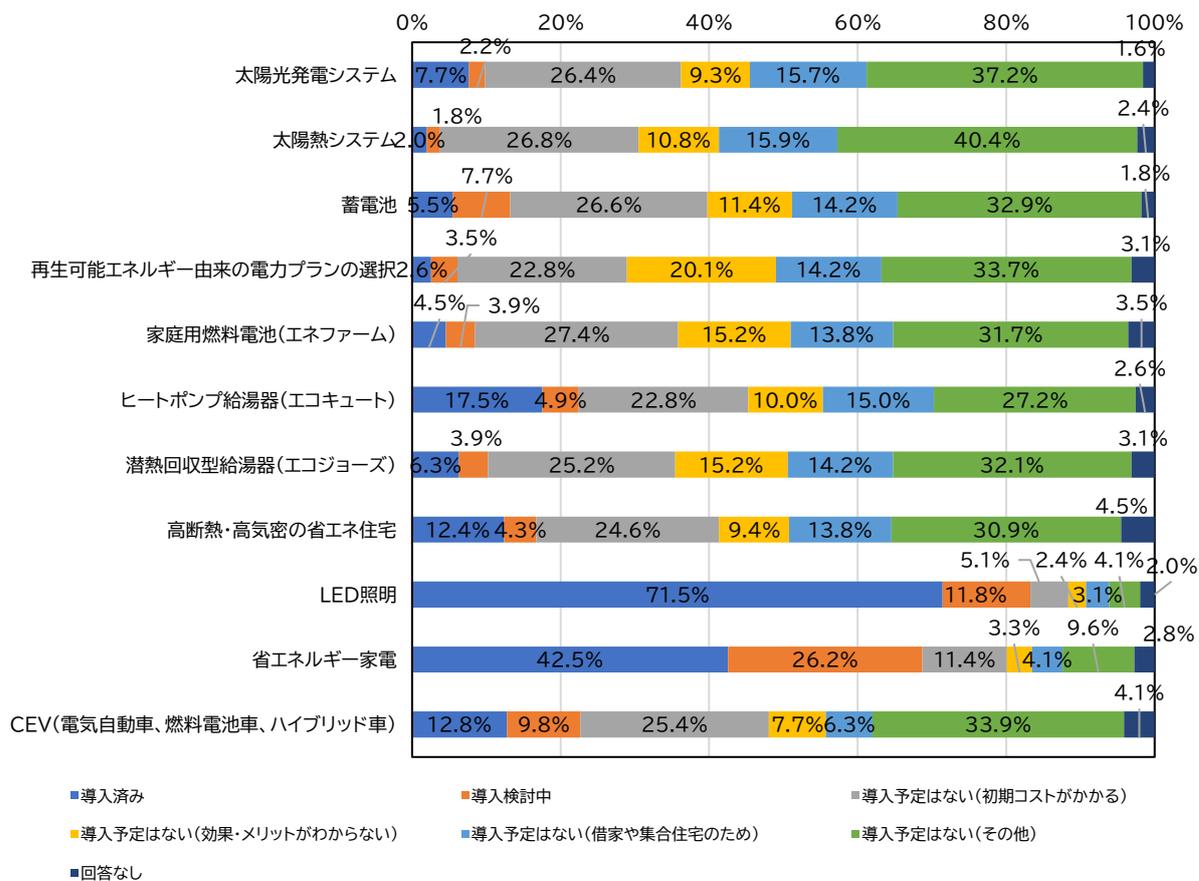
導入検討中

導入予定はない(初期コストがかかる)

導入予定はない(効果・メリットがわからない)

導入予定はない(借家や集合住宅のため)

導入予定はない(その他)



**【質問6 追加質問】** 質問6の ①太陽光発電システム、②太陽熱システムで「1.導入済み」と回答した方のみ あなたが自家消費用に設置しているシステムの容量または年間の利用量をご記入ください。

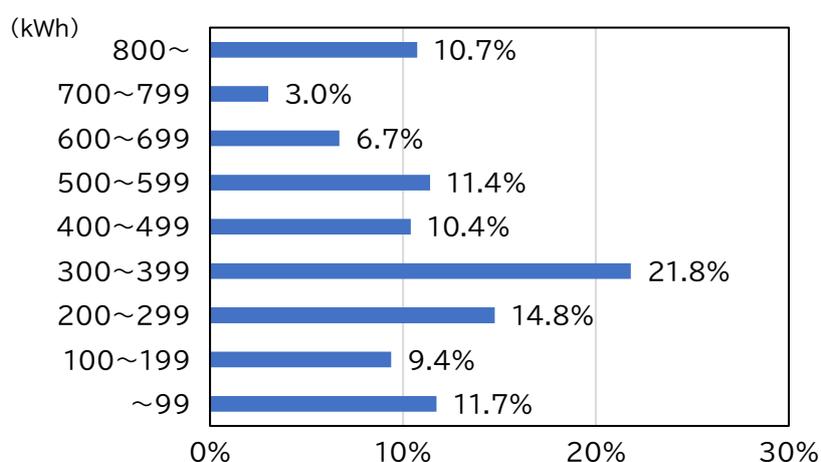
① 太陽光発電システム (回答数=27)  
 設備容量 (kW) 4.9、6、9、9.8、2.8、2、4.5、4、2.5、4、9、4.8、5.03  
 年間利用量 (kWh) 1800、3、16000、把握してません、2498、2400、16834、10、わからない、600、わからない、3585、5.6、2123

② 太陽熱システム (回答数=6)  
 太陽熱利用量 (MJ) 4.9、3400、把握してません、9、10、不明

**【質問7-1】** あなたの、1か月あたり（年間の平均値）の電気使用量をご記入ください。（回答数=298）

・回答者の電気使用量は「300～399kWh」が最も多く、21.8%を占めている。次いで「200～299kWh」が14.8%、「～99kWh」が11.7%、「500～599kWh」が11.4%となっている。

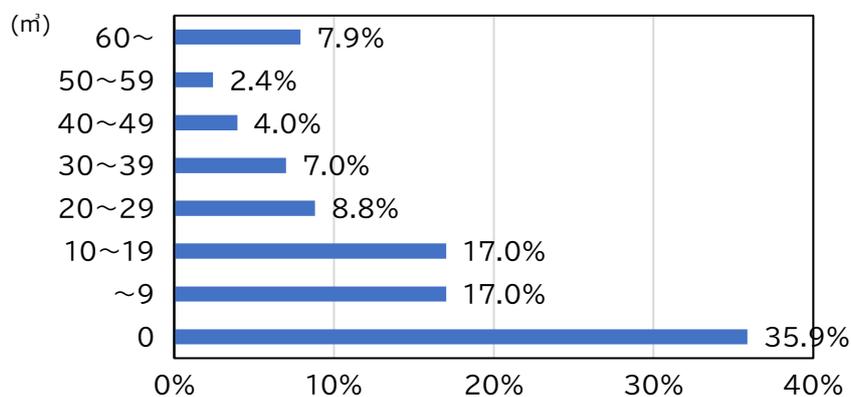
一方で、「700～799kWh」（3.0%）の回答は少なく、全体としては300～400kWh未満の層が中心であることがわかる。



**【質問7-2】** あなたの、1か月あたり（年間の平均値）のガス使用量をご記入ください。（都市ガス）（回答数=329）

・都市ガスの使用量は、使用していない「0m<sup>3</sup>」が最も多く35.9%を占めている。次いで「～9m<sup>3</sup>」および「10～19m<sup>3</sup>」がともに17.0%と続いている。

一方で、「50～59m<sup>3</sup>」（2.4%）、「40～49m<sup>3</sup>」（4.0%）など高使用量の回答は少なく、0～20m<sup>3</sup>未満の比較的少ない使用量の層が大半を占めていることがわかる。

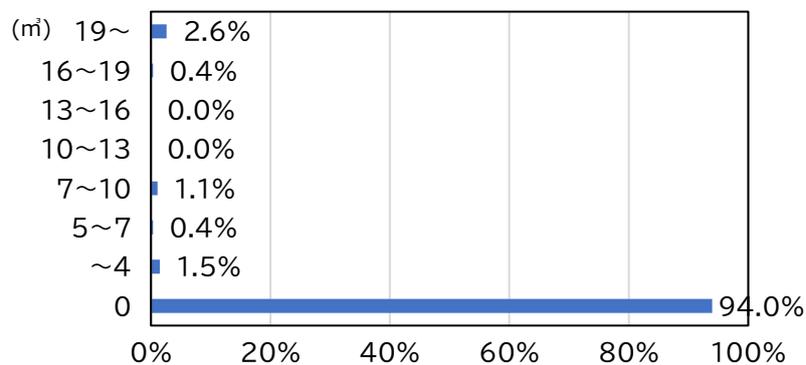


**【質問7-2】** あなたの、1か月あたり（年間の平均値）のガス使用量をご記入ください。(LP ガス) (回答数=265)

・LP ガスの使用量については、使用していない「0m<sup>3</sup>」が圧倒的に多く、94.0%を占めている。

一方で、LP ガスを使用している回答はごく少数で、「～4m<sup>3</sup>」が1.5%、「7～10m<sup>3</sup>」が1.1%、「19m<sup>3</sup>～」が2.6%となっている。

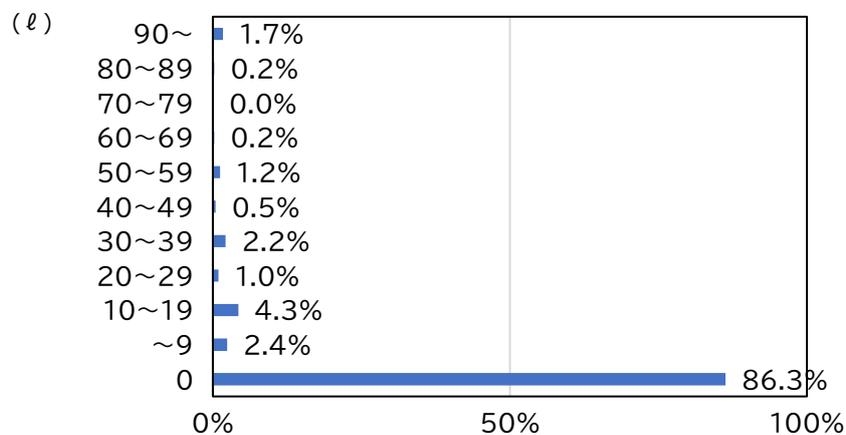
全体として、回答者の大半はLP ガスを利用していないことがわかる。



**【質問7-3】** あなたの、1か月あたり（年間の平均値）の灯油使用量をご記入ください。(回答数=416)

・灯油の使用量については、使用していない「0リットル」が最も多く、86.3%を占めている。

一方で、灯油を使用していると回答した人は少数であり、「10～19L」が4.3%、「～9L」が2.4%、「30～39L」が2.2%と続き、高い使用量の回答は極めて少なく、「90L以上」は1.7%にとどまっている。全体として、回答者の大半は灯油を使用していないことがわかる。



**【質問8】**あなたは忠岡町の環境に関する各項目について、日ごろどのように感じていますか。(重要度及び満足度調査)

(回答数=508)

・重要度・満足度の結果を見ると、「ポイ捨てやごみの散乱がなく、きれいである」「環境について学ぶ機会がある」「川などの水がきれいである」といった項目が、重要度が高く満足度が低い水準で推移しており、今後の重点的な取組分野といえる。

満足度が高い項目としては、「ゴミの分別やリサイクルなどの活動が盛んである」「空気が汚れておらず、きれいである」など、日常生活に直結する快適な環境面が挙げられる。これらは住民が日頃から恩恵を実感しやすい分野であり、町の環境整備の成果が表れているといえる。

一方で、情報発信や教育に関する項目では、「環境に関する情報が充実している」「環境イベントが充実している」といった項目の満足度が相対的に低く、環境への理解を深めるための機会が十分に提供されていないことが示唆される。

今後は、住民が環境の良さを“感じる”段階から、“学び・参加する”段階へと取組を広げ、環境教育や地域活動の機会を充実させることで、住民一人ひとりが身近な行動として環境保全に関われる体制づくりを進めていくことが重要である。

項目（18種類）

- ①空気が汚れておらず、きれいである
- ②川などの水がきれいである
- ③家の周辺が静かである
- ④公園や街路樹など緑が豊かである
- ⑤野生の動植物などを身近に感じる
- ⑥ポイ捨てやごみの散乱がなく、きれいである
- ⑦徒歩や自転車で快適に過ごせる
- ⑧公共交通機関が充実している
- ⑨ごみの分別やリサイクルなどの活動が盛んである
- ⑩食品ロス削減のための協力の呼びかけがある
- ⑪公共施設の省エネルギー性能の向上
- ⑫公共施設への再生可能エネルギーの導入
- ⑬再生可能エネルギーの導入に関する補助制度や情報提供
- ⑭自然エネルギーがまちで使われている
- ⑮暑さや大雨（気候変動）の対策が十分である
- ⑯環境について学ぶ機会がある
- ⑰環境イベントが充実している
- ⑱環境に関する情報が充実している



【質問9】忠岡町の環境をより良くするために、町が重点的に取り組むべき環境対策はどれだと思いますか。

(A) エネルギー・資源循環

(回答数=508)

・エネルギー・資源循環に関する分野では、「リサイクル・再使用など、資源の有効活用を進める」が30.7%と最も多く、住民の多くがごみの減量化や資源循環の推進を最優先課題として捉えていることが分かる。

次いで「ごみ分別や収集体制の充実を図る」(20.7%)、「省エネ家電・省エネ住宅の導入を促進する」(14.4%)、「再生可能エネルギーの導入を促進する」(14.0%)が続き、エネルギー消費の削減とともに再エネ利用の拡大にも一定の関心が寄せられている。

今後は、住民の関心が高いごみ・資源循環の分野を軸に、エネルギー利用の効率化や脱炭素化の取組へと関心を広げていく働きかけが求められる。

あわせて、省エネ設備導入や再エネ利用を具体的に支援する仕組みを整備し、日常的な行動の延長で取り組める環境施策を展開していくことが重要である。

選択肢7種類

グラフの凡例参照

・その他回答

産業廃棄物のごみ焼却場を誘致実行。無駄な解約金を支払うことにならないようにしてほしい。町長の判断のみで二転三転されては困る。無駄な血税を使わないでほしい。空は繋がっているから誘致することにより町の収益に繋がるのであればそれで良い。小学生の給食無償化でさえ実行できないのであれば誘致して利益を未来の子どもたちへ回して欲しい。

商業施設を増やす

ゴミの焼却施設の新設は不要

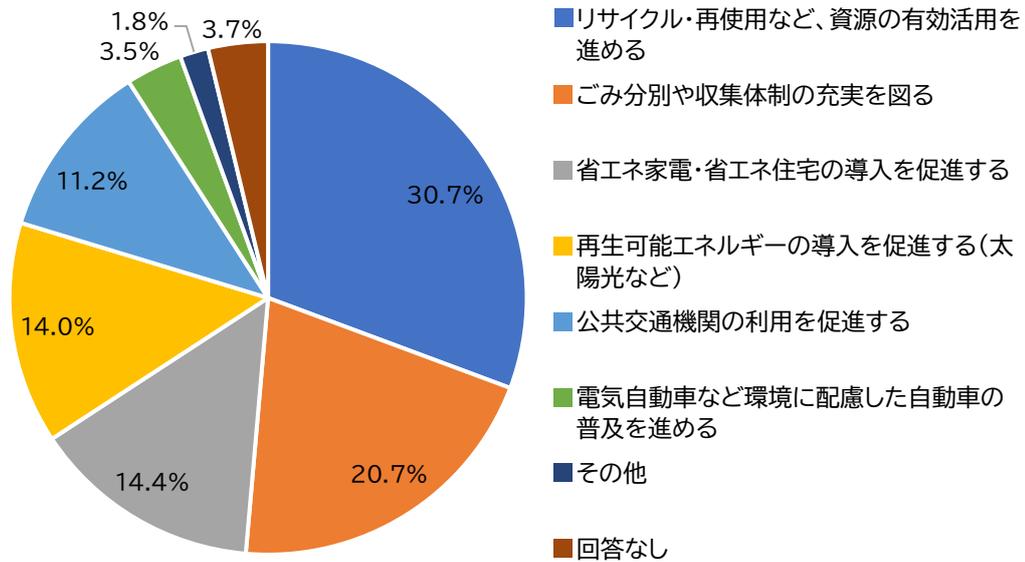
廃棄施設の誘致を白紙撤回する

他県で問題となっている太陽光を導入しないこと

ゴミのポイ捨て、ごみ置き場の整理等、町民の教育が必要

補助金を活用 泉大津市は省エネ家電の助成金が出てました。岸和田市は太陽光の補助金が出てました。

使用済みのイオン電池製品の回収。火事のも元となるので



(B) 自然環境

(回答数=508)

・自然環境分野では、「緑地の保全や緑化の取組を推進する」が47.4%と最も多く、住民の多くが身近な緑を守り育てる取組を最も重要と捉えていることが分かる。次いで「公園の新設や整備を進める」(30.9%)が続き、緑地空間の確保・整備への期待が全体の8割近くを占めている。一方で、「外来生物への対策を進める」(10.2%)や「生物多様性の保全・再生を進める」(4.3%)といった生態系に関する項目は回答が少なく、生活実感としての優先度は比較的低い傾向にある。

こうした結果から、町では、公園や街路樹など身近な緑の保全・整備を通じた自然環境の維持が最も求められていることが明らかとなった。

今後は、緑地の保全・整備を進めるとともに、外来種対策や地域固有の生態系保全など、中長期的な自然環境の質向上にもつながる取組を段階的に進めていくことが重要である。

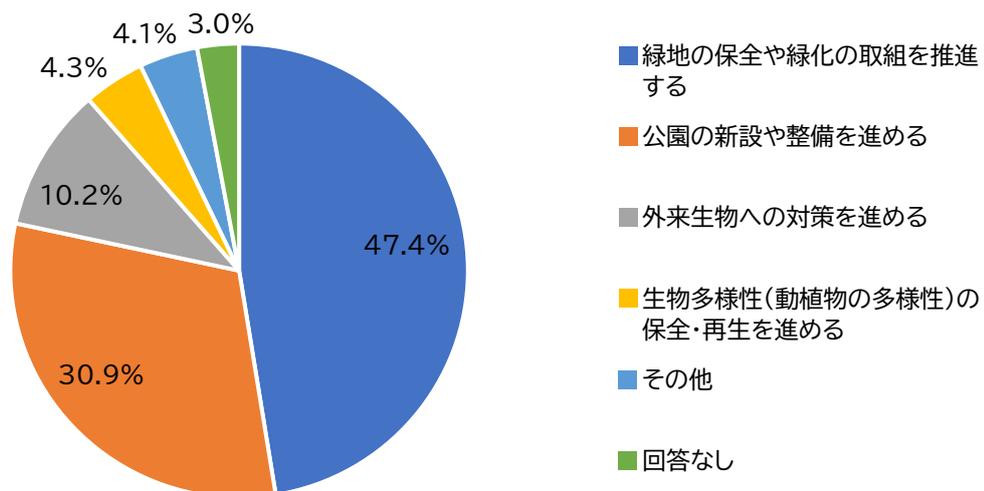
選択肢5種類

グラフの凡例参照

・その他の回答

増水対策
河川の整備
ほったらかされた田んぼが多い。対策を考えてほしい。

工業施設から出る化学的な物質を含む大気汚染と臭い対策、産廃施設建設の取り止めに強く希望
現状で満足
空き家や空き地、生い茂った雑草などもっと手入れすべき
氾濫防止のための大津川の土砂さらいを大阪府や国に訴えること
ゴミのポイ捨てをなくす
ゴミの焼却施設の新設は不要
廃棄施設の誘致を白紙撤回する
何でもいい
のらねこが困る 庭にウンチ、尿をする
子供達がボール遊びできる広い公園
のら猫対策
現状でよい
カラスが多い、ゴミをあらす
雑草が生えて歩道が通りにくい
大津川が汚い
町の美化活動
ゴミを散らかすのでカラス、野良ネコの対策



(C)生活環境

(回答数=508)

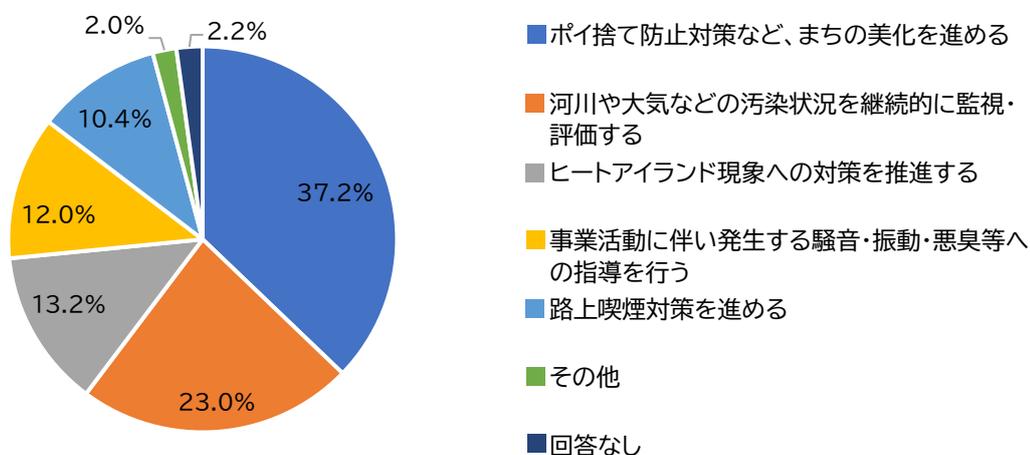
・生活環境分野では、「ポイ捨て防止対策など、まちの美化を進める」が 37.2%と最も多く、住民の多くが日常の清潔さや景観の維持を重視していることが明らかとなった。次いで「河川や大気などの汚染状況を継続的に監視・評価する」(23.0%)、「ヒートアイランド現象への対策を推進する」(13.2%)、「事業活動に伴い発生する騒音・振動・悪臭等への指導を行う」(12.0%)と続き、環境汚染の防止や気候変動への対応など、幅広い分野への関心が見られる。

こうした結果から、町では、まちの清潔さや美観の維持とともに、河川・大気環境などの基礎的な環境管理を引き続き重視すべきであることが示された。

選択肢 6 種類  
グラフの凡例参照

・その他の回答

再生エネルギー対策
給食代の無償化
産廃施設は早く造ったほうがいい。遠くまで運んでいると聞いた。それはエコなのか。
犬のふんを飼い主に回収してもらえるよう鉄塔の下に再度案内ポスター強化してほしい。
ゴミの焼却施設の新設は不要
廃棄施設の誘致を白紙撤回する
駅前の自転車置き場や駅周辺をきれいにする。花や整備する。
空地の雑草、アレルギー対策の為
自転車専用道路を作る



(D)環境教育・情報提供

(回答数=508)

・環境教育・情報提供の分野では、「環境保全に関する条例・ルールを整備・強化する」が30.5%と最も多く、制度的な仕組みづくりを通じて環境保全を推進してほしいという意向が強いことが分かった。次いで「環境に関する情報発信や広報活動を充実させる」(28.5%)、「地域住民と連携した環境活動(清掃・保全など)を推進する」(25.6%)が続き、住民の情報アクセスや参加の機会を広げることへの期待も高い傾向が見られる。

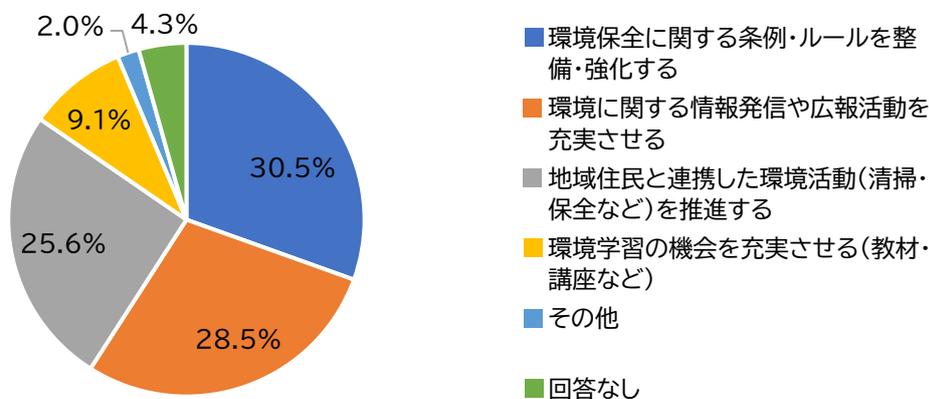
こうした結果から、町では、条例やルールによる基盤整備と同時に、分かりやすい情報発信・周知の強化が求められているといえる。

今後は、環境に関する情報を住民が身近に感じられる形で届けるとともに、地域の清掃活動や啓発イベントなどを通じて、行政と住民が協働で環境意識を高め合う仕組みづくりを進めていくことが重要である。

選択肢5種類  
グラフの凡例参照

・その他の回答

産廃ゴミ誘致問題について住民への説明不足。莫大な違約金を支払わされることだけのごめんである
大気汚染対策と産廃施設を忠岡町に置くことを止めること、町長は公約を必ず実行すべき
ゴミの焼却施設の新設は不要
廃棄施設の誘致を白紙撤回する
タバコのポイ捨てが多い、屋外でのキツエンを禁止してほしい
不必要
祭の始め時間や終了時間の徹底を！！



**【質問 10】** 地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減するため、町に行ってほしい取組は何ですか。（該当するものを3つまで選択）

（回答数=508）

・地球温暖化対策に関する設問では、「ごみ量の削減、リサイクルの推進」が 38.8%と最も多く、住民の多くが日常生活に直結する行動変容による温室効果ガス削減を重視していることが分かった。

次いで「緑化推進等、二酸化炭素を吸収する取組の推進」(35.6%)や「太陽光発電、蓄電池、省エネ設備導入のための補助金等支援制度の充実」(33.5%)が続き、身近な環境改善とあわせて、省エネ・再エネの導入支援を求める声も高い傾向にある。

また、「子どもたちに対する環境学習の推進」(30.3%)も上位に挙げられており、次世代への環境教育を通じた意識啓発にも関心が集まっている。一方で、「公共施設等含む町内への再生可能エネルギー導入」(19.5%)や「太陽光発電、蓄電池、省エネ家電・設備等に関する情報提供の充実」(12.4%)といった取組は比較的低い割合にとどまり、住民の関心は個人や家庭レベルの実践により近いことがうかがえる。

こうした結果から、町では、ごみ削減・緑化・省エネ支援を中心に、身近な行動を通じて温暖化対策を進めることが効果的であると考えられる。今後は、補助制度や情報提供を通じて住民の取組を後押しするとともに、環境教育の充実を通じて地域全体での脱炭素意識の醸成を図ることが重要である。

#### 選択肢 10 種類

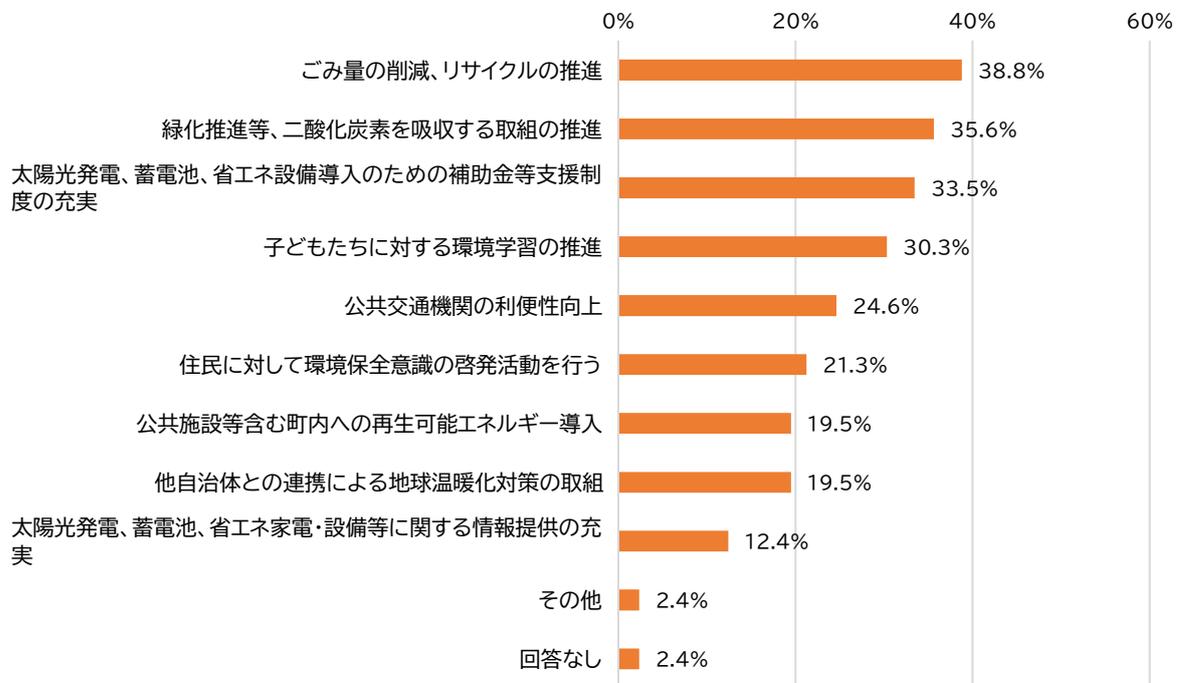
1. 太陽光発電、蓄電池、省エネ家電・設備等に関する情報提供の充実
2. 太陽光発電、蓄電池、省エネ設備導入のための補助金等支援制度の充実
3. 子どもたちに対する環境学習の推進
4. 住民に対して環境保全意識の啓発活動を行う
5. ごみ量の削減、リサイクルの推進
6. 公共施設等含む町内への再生可能エネルギー導入
7. 緑化推進等、二酸化炭素を吸収する取組の推進
8. 公共交通機関の利便性向上
9. 他自治体との連携による地球温暖化対策の取組
10. その他（ ）

#### ・その他の回答

南海本線の踏切渋滞による排ガス減少の為にも高架設置を願います

太陽光は不要。廃棄に資金とゴミが増える。東大阪だったか、市区町村管轄で古着の交換会をしていた。子ども服・制服リユース交換会を開催してほしい。

太陽光発電、蓄電池省エネ家電設備等町からお金出してほしい
自治体の人の数知れてる。住人の方が多いため広報を進めます。
SAF 使用済油回収施設
そもそも二酸化炭素が主な原因なのか再検証が必要。世界でこの数年取り組んでも改善した気がしない。メイン道路とかにアーケード設置したりして日陰作ったほうがマシだと思う。
レジ袋を無料化して焼却炉の燃料となる様にしてほしい
環境設備を作る為に二酸化炭素がつかわれるから、悪循環です。
廃棄施設の誘致を白紙撤回する
ゴミの焼却施設の新設は不要



**【質問 11】** 地球温暖化に伴う影響（気候変動等）に対処するため、町が優先的に進めていくべき取組はどのような分野だと思いますか。（該当するものを3つまで選択）

（回答数=508）

・地球温暖化に伴う影響への対応分野については、「自然災害（洪水・土砂崩れ）」および「健康（熱中症・感染症）」がともに 55.5%と最も高く、住民の多くが命や安全に直結する分野への対策を最優先に求めていることが分かった。

近年の豪雨災害や猛暑の頻発を踏まえ、気候変動によるリスクを身近な脅威として捉える傾向が強いことがうかがえる。次いで「水環境・水資源（湧水・水質保全）」（40.0%）、「農業・水産業（食糧の供給）」（38.8%）、「住民生活全般（家屋・交通・ヒートアイランド）」（36.0%）が続き、生活や地域経済に影響する分野にも関心が広がっている。

こうした結果から、町では、防災・健康を軸とした気候変動適応策を最優先に進めつつ、水環境や生活インフラなどの分野で持続可能なまちづくりを推進していくことが求められる。また、今後は生態系など長期的課題についても、教育や情報発信を通じて関心を高める取組が重要となる。

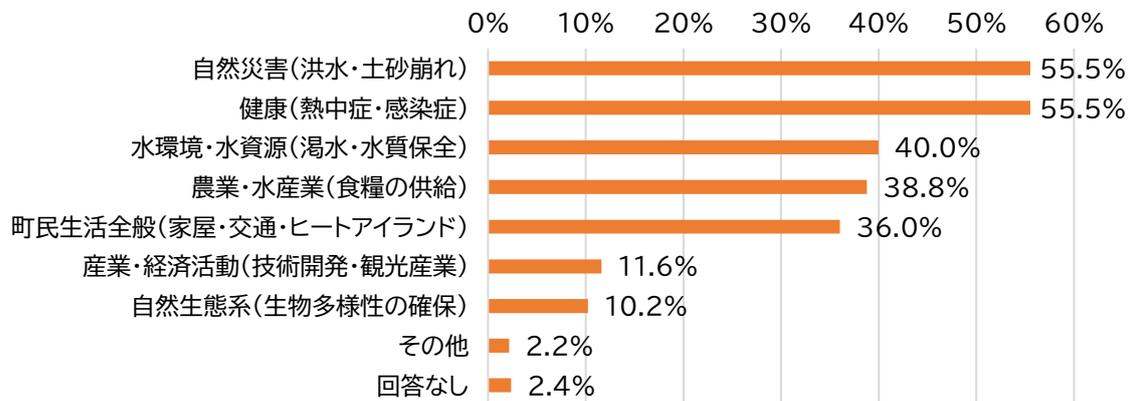
選択肢 8 種類

1. 農業・水産業（食糧の供給）
2. 水環境・水資源（湧水・水質保全）
3. 自然生態系（生物多様性の確保）
4. 自然災害（洪水・土砂崩れ）
5. 健康（熱中症・感染症）
6. 産業・経済活動（技術開発・観光産業）
7. 町民生活全般（家屋・交通・ヒートアイランド）
8. その他（        ）

・その他の回答

大気汚染
ご高齢の方が夏場涼める場所、集えるよう憩いの場での水分提供。
空き家の始末、有効活用
現状で満足
住人に知識を与えるべき 市役所の人や管理職で動くより地域の店と連携とるべき。
その前に企業誘致、法人税収アップ。既存のインフラの修繕計画なので重要と思います。
大津川の見直し 大雨が降ると心配
温暖化の根拠をまず示してください

ごみゼロ活動の啓発
廃棄施設の誘致を白紙撤回する
ゴミの焼却施設の新設は不要

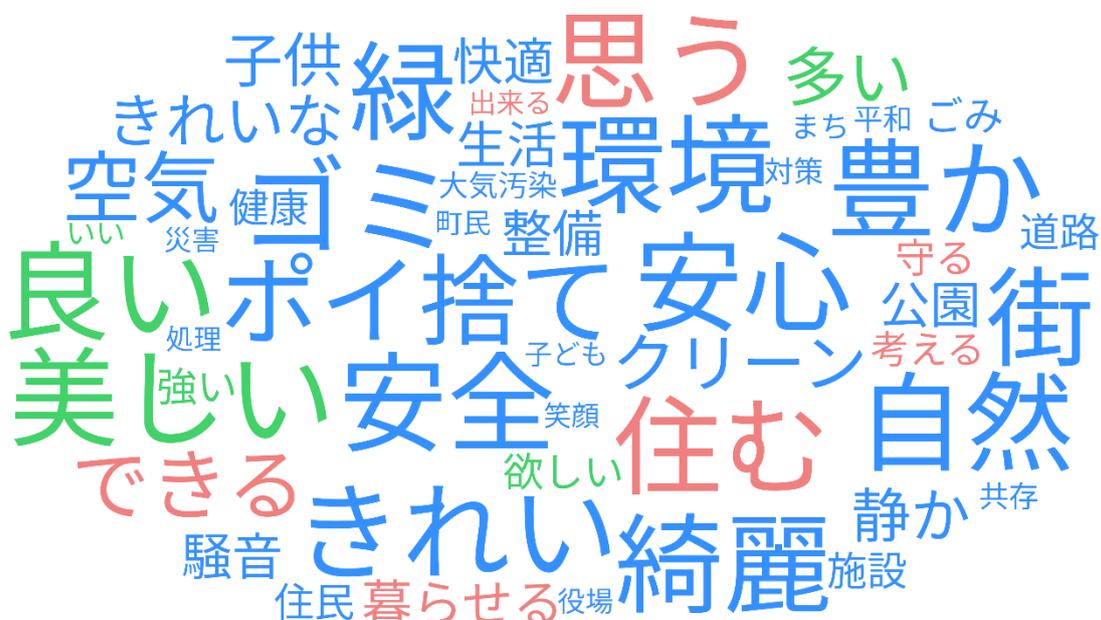


【質問 12】 あなたは将来の忠岡町の環境がどのような状態であることを望みますか。  
(自由記述)

(回答数=508)

・自由記述回答をもとに作成したワードクラウドでは、「きれい」「美しい」「安心」「安全」「自然」「豊か」といった言葉が多く見られ、住みやすく、自然と共生する美しいまちへの期待が強く表れている。

また、「ポイ捨て」「ごみ」「クリーン」といった語も頻出しており、身近な環境美化やごみ対策を通じて“きれいな町”を維持したいという意識がうかがえる。一方で、「子供」「学ぶ」「考える」といった言葉も見られ、将来世代が環境について学び、行動できる町を目指したいという住民の意向も示されている。



※大容量テキストマイニングに質問の全回答を入力し、スコアに応じて表示させたもの。「一般的な文書でよく出る単語は、重要ではないため、重み付けを軽くする」、一方「一般的な文書ではあまり出現しないが、調査対象の文書だけによく出現する単語は重視する」仕組みを取り入れている。

ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析

( <https://textmining.userlocal.jp/> )

### 3 事業者アンケート調査結果

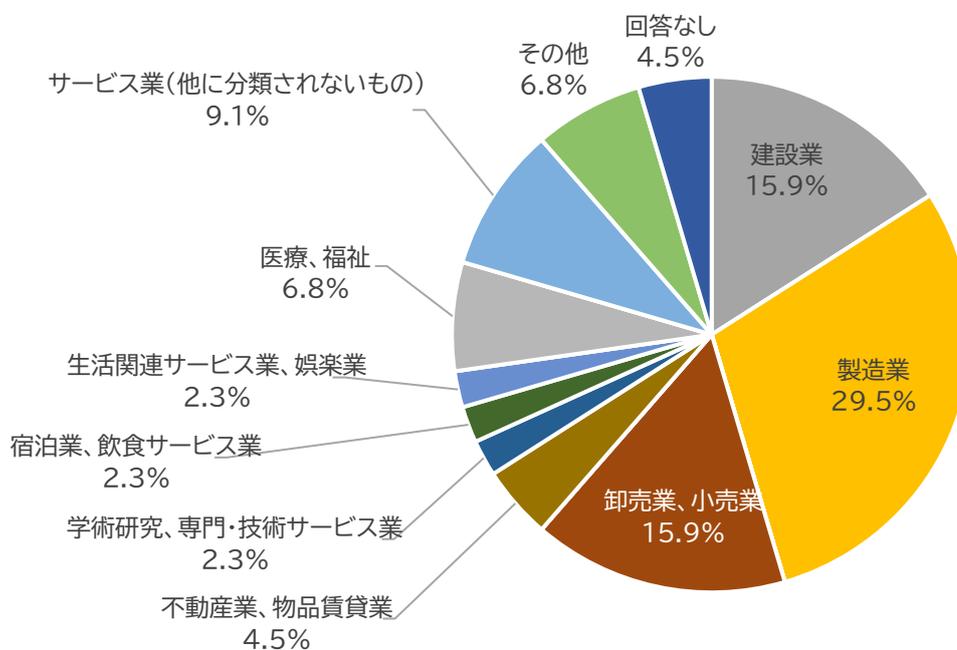
【質問1】 貴組織について、該当するものを選択してください。

(回答数=44)

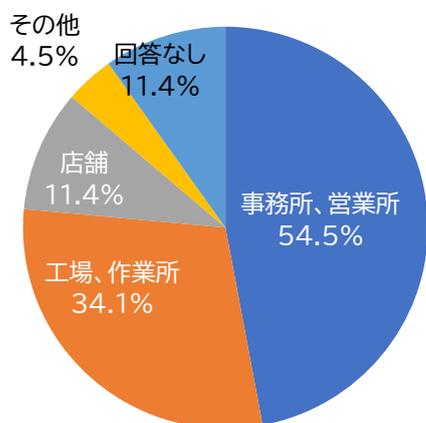
#### ① 業種

選択肢 18 種類

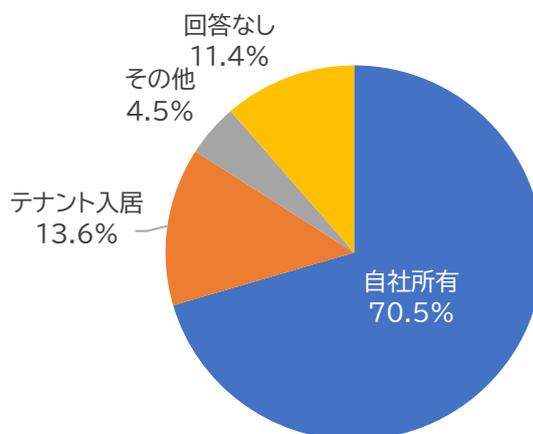
- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 農業、林業、水産業          | 2. 鉱業、採石業       |
| 3. 建設業                | 4. 製造業          |
| 5. 電気、ガス、熱供給、水道業      | 6. 情報通信業        |
| 7. 運輸業、郵便業            | 8. 卸売業、小売業      |
| 9. 金融業、保険業            | 10. 不動産業、物品賃貸業  |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業   | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業     | 14. 教育、学習支援業    |
| 15. 医療、福祉             | 16. 複合サービス業     |
| 17. サービス業（他に分類されないもの） |                 |
| 18. その他（              | ）               |



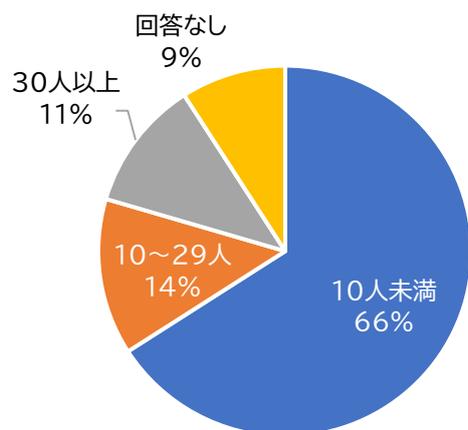
② 事業所の形態



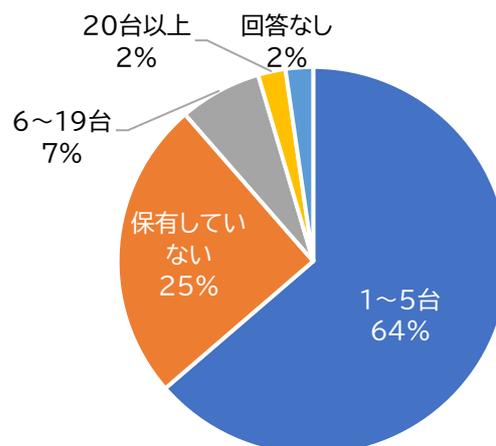
③ 入居形態



④ 従業員数



⑤ 業務自動車の保有台数

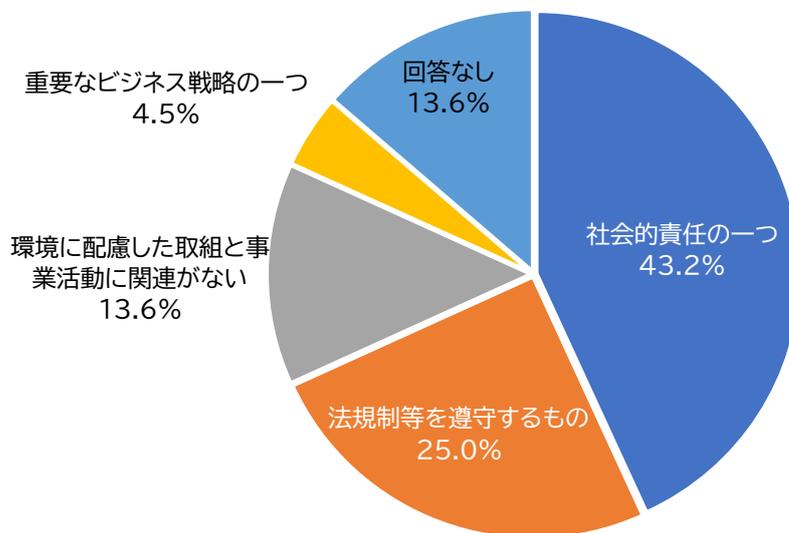


**【質問2】** 貴事業所の事業活動において、環境に配慮した取組は現在どのように位置づけられていますか。 (回答数=44)

・本調査に回答した事業者のうち、「社会的責任の一つ」と回答した事業者が43.2%と最も多かった。  
次いで「法規制等を遵守するもの」とした回答が25.0%あり、環境への取組を主に社会的要請や法令遵守の観点から捉えている事業者が多いことが分かる。  
一方で、「重要なビジネス戦略の一つ」として位置づけている事業者は4.5%にとどまり、経営戦略上の取組としてはまだ浸透していない状況である。  
今後は、環境配慮を社会的責任として取り組む段階から、経営上の価値創出や競争力強化につなげる段階へと発展させていくことが重要である。  
町としても、事業者が自社の業種や規模に応じて実践できる具体的な環境取組を検討できるよう、事例紹介や支援策の充実を図ることが求められる。

選択肢4種類

1. 社会的責任の一つ
2. 重要なビジネス戦略の一つ
3. 法規制等を遵守するもの
4. 環境に配慮した取組と事業活動に関連がない



**【質問3】** 事業活動を行うにあたり、環境に及ぼす影響は何だと思えますか。(複数回答可)

(回答数=44)

・最も多かった回答は「ごみの増加」で59.1%となり、事業活動に伴う廃棄物の発生を環境への主な影響として捉えている事業者が多いことが考えられる。次いで「温室効果ガス排出量の増加」(31.8%)や「水質汚濁」(29.5%)が挙げられた。

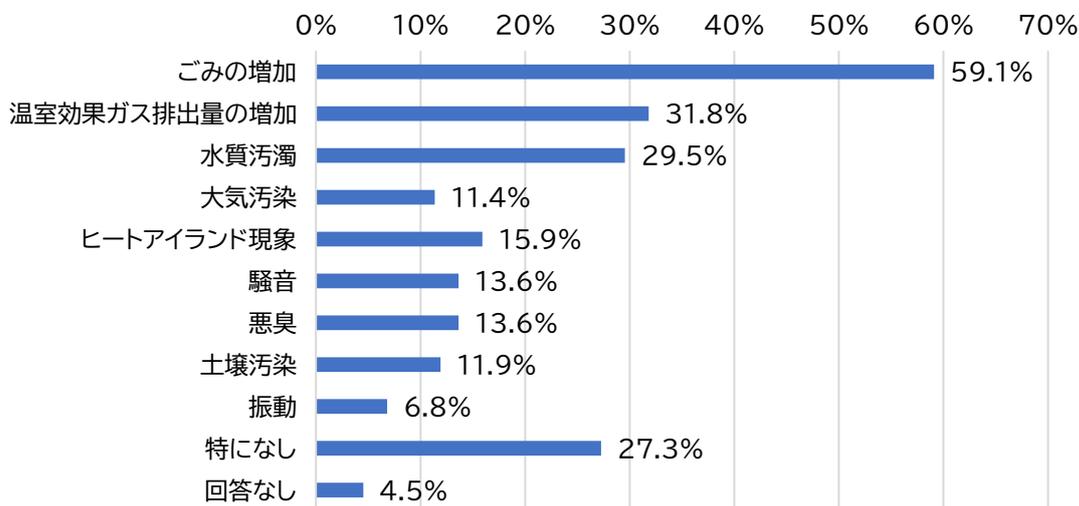
一方で、「特になし」と回答した事業者も27.3%あり、環境への影響をあまり意識していない層も存在する。

こうした結果から、廃棄物処理やエネルギー使用など、身近な環境課題への関心が高い一方で、自社の事業活動が環境に及ぼす影響を包括的に把握している事業者はまだ限られると考えられる。

今後は、事業者が自らの業務と環境との関わりをより具体的に理解できるよう、町としても分かりやすい情報提供や意識啓発を進めていくことが望まれる。

選択肢 11 種類

1. ごみの増加                      2. 温室効果ガス排出量の増加                      3. ヒートアイランド現象  
 4. 大気汚染                      5. 騒音                      6. 振動                      7. 水質汚濁                      8. 悪臭  
 9. 土壌汚染                      10. 特になし                      11. その他 (                      )



**【質問4】** 近年の地球温暖化による気候変動について、貴事業所に影響を与える可能性の高い不安要素はありますか。（該当するものを3つまで選択）

（回答数=44）

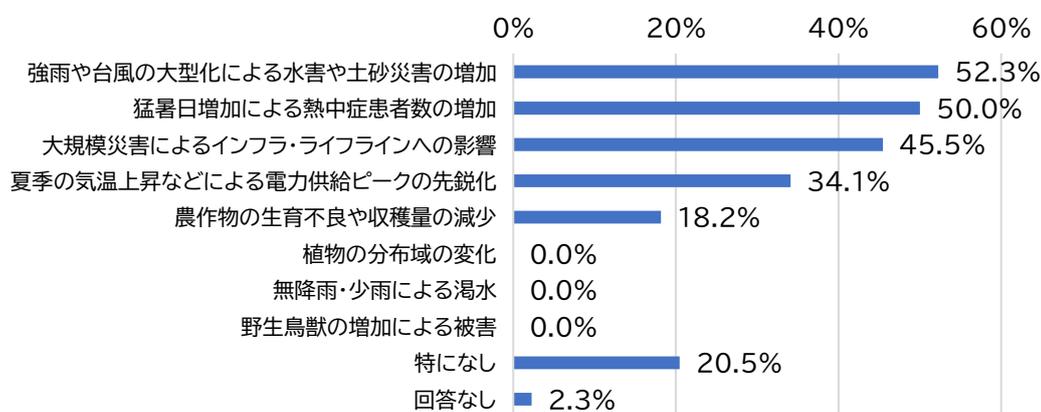
・最も多かったのは「強雨や台風の大型化による水害や土砂災害の増加」で52.3%となり、災害リスクの高まりを身近な不安要素として捉えている事業者が多いことが分かる。次いで「猛暑日増加による熱中症患者数の増加」が50.0%、「大規模災害によるインフラ・ライフラインへの影響」が45.5%と続き、気象の極端化による安全面や事業継続への影響を懸念する傾向が見られる。一方で、「特になし」と回答した事業者も20.5%あり、現時点では気候変動の影響を自社の事業に直接結びつけていない層も一定程度存在する。

こうした結果から、災害や猛暑といった直接的な影響への関心は高まっている一方で、気候変動を事業全体のリスクとして捉える意識はまだ発展途上にあるといえる。

今後は、気象災害への備えに加え、自社の事業特性や地域環境に応じたリスク評価を進め、事業継続計画（BCP）などの見直しや防災対策への反映を図っていくことが重要である。

選択肢9種類

1. 強雨や台風の大型化による水害や土砂災害の増加
2. 大規模災害によるインフラ・ライフラインへの影響
3. 猛暑日増加による熱中症患者数の増加
4. 農作物の生育不良や収穫量の減少
5. 植物の分布域の変化
6. 無降雨・少雨による渇水
7. 野生鳥獣の増加による被害
8. 夏季の気温上昇などによる電力供給ピークの先鋭化
9. 特になし

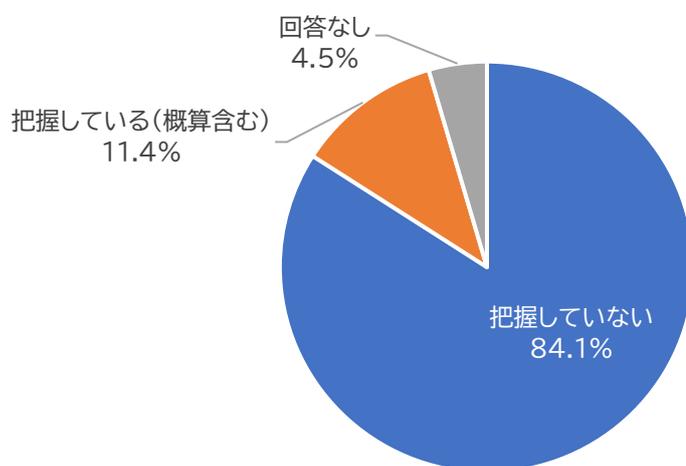


**【質問5】** 貴事業所では、温室効果ガス排出量の把握をしていますか。

(回答数=44)

・温室効果ガス排出量の把握状況については、「把握していない」と回答した事業者が84.1%を占め、排出量の計測や管理が十分に進んでいない現状が明らかとなった。この結果から、多くの事業者において、自社の排出量を定量的に把握する体制がまだ整っていないことがうかがえる。

今後は、エネルギー使用量などの基礎データをもとに、簡易な方法からでも排出量の把握を始められるよう、町として支援の仕組みやツールの周知を進めていくことが重要である。



**【質問5 追加質問】** 質問5で「1. 把握している（概算含む）」と回答した方のみ直近の排出量と調査年または年度をご記入ください。

(回答数=3)

排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)

151.3、10億7千、51.6

調査年

2024、2023、2024

**【質問 6】** 貴事業所では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。 (回答数=44)

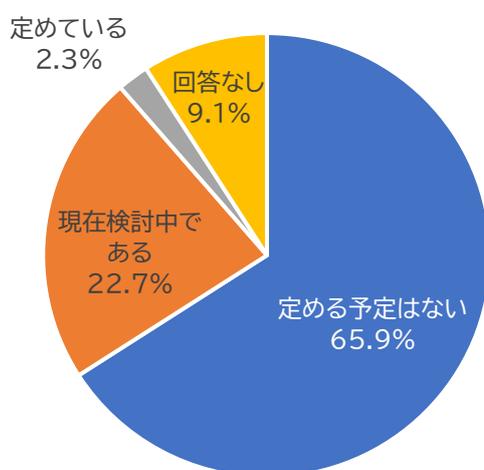
・温室効果ガス排出量の削減に向けた目標や方針の設定状況については、「定める予定はない」と回答した事業者が 65.9%と最も多く、削減方針の策定が進んでいない実態が明らかとなった。一方で、「現在検討中である」とした事業者は 22.7%であり、一部では削減の方向性を模索する動きも見られる。「定めている」と回答した事業者は 2.3%にとどまり、目標設定を実際に行っている事業者はごく少数であった。

この結果から、多くの事業者が温室効果ガス削減を重要課題と認識しつつも、具体的な目標設定や取組方針の策定にまでは至っていない現状がうかがえる。

今後は、事業規模に応じた実行可能な目標づくりを支援し、取組を始めやすくする仕組みづくりや情報提供を町として進めていくことが重要である。

選択肢 4 種類

1. 定めている
2. 現在検討中である
3. 定める予定はない
4. その他 ( )



**【質問 6 追加質問】** 質問 6 で「1. 定めている」と回答した方のみ 目標や方針をご記入ください。 (回答数= 1)

2025 年度目標 ・ガソリン、軽油等燃料使用量の削減 202 年度比 2%削減。 ・産業廃棄物の削減 2020 年度比 1%削減。 ・水の使用量の削減 2020 年度比 1%削減。

【質問7】貴組織で実施している、あるいは今後実施する環境に配慮した取組について、該当するものを選択してください。（回答数=44）

・環境に配慮した取組の実施状況を見ると、「ごみの減量や分別、リサイクルの推進」が最も多く、54.5%の事業者が実践していた。

次いで、「コピー機等 OA 機器の省エネモード設定」（45.5%）や「『クールビズ』『ウォームビズ』の奨励」（43.2%）、「照明や水道の使用量削減」（43.2%）など、日常業務に直結する身近な取組が多く挙げられた。

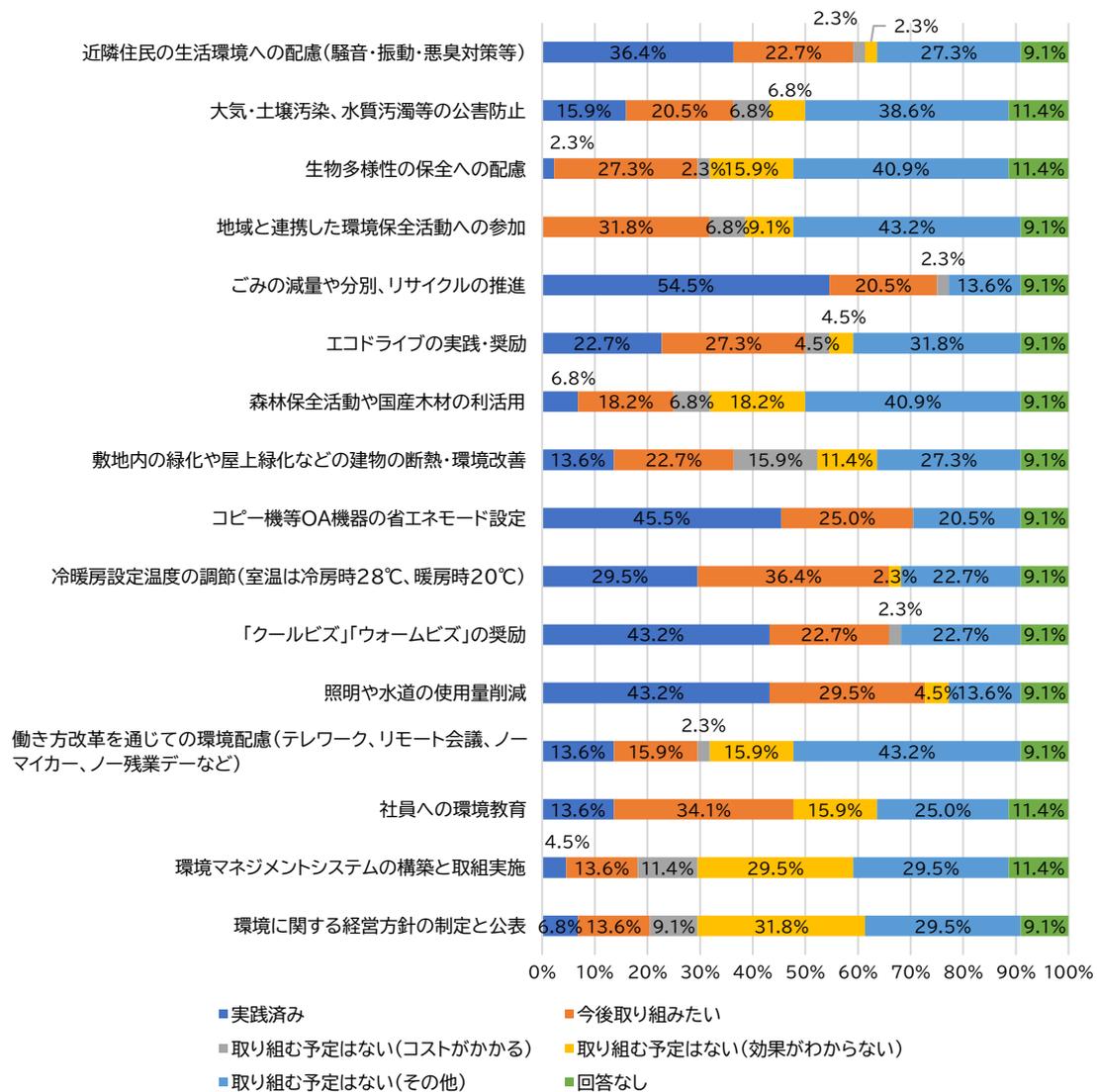
これらの結果から、無理なく実践できる省エネやリサイクルなどの行動が広く浸透していることが分かる。

一方で、「地域と連携した環境保全活動への参加」や「森林保全活動や国産木材の利活用」、「環境マネジメントシステムの構築と取組実施」など、より組織的・外部的な取組は実践率が低く、今後の取組意向も比較的少なかった。

この結果から、町内事業者の多くは日常的な省エネや廃棄物削減には積極的であるものの、組織全体での環境経営や地域協働といった中長期的な取組はまだ発展段階にあるといえる。

#### 選択肢 16 種類

- ①環境に関する経営方針の制定と公表
- ②環境マネジメントシステムの構築と取組実施
- ③社員への環境教育
- ④働き方改革を通じての環境配慮（テレワーク、リモート会議、ノーマイカー・ノー残業デーなど）
- ⑤照明や水道の使用量削減
- ⑥「クールビズ」「ウォームビズ」の奨励
- ⑦冷暖房設定温度の調節（室温は冷房時 28℃、暖房時 20℃）
- ⑧コピー機等 OA 機器の省エネモード設定
- ⑨敷地内の緑化や屋上緑化などの建物の断熱・環境改善
- ⑩森林保全活動や国産木材の利活用
- ⑪エコドライブの実践・奨励
- ⑫ごみの減量や分別、リサイクルの推進
- ⑬地域と連携した環境保全活動への参加
- ⑭生物多様性の保全への配慮
- ⑮大気・土壌汚染、水質汚濁等の公害防止
- ⑯近隣住民の生活環境への配慮（騒音・振動・悪臭対策等）



【質問8】省エネルギーや再生可能エネルギーに係る設備、システム等を導入していますか。 (回答数=44)

・環境配慮に関する設備・制度の導入状況をみると、全体的に「導入していない」または「導入予定はない」とする回答が多く、導入の進展にはばらつきが見られた。特に、初期コストや施設所有形態の制約（賃貸・テナント入居等）が導入を妨げる要因として表れている。

導入が比較的進んでいるのは、「高効率照明（LED照明、Hf型照明等）」で45.5%の事業者が実施済みと回答しており、次いで「断熱材・複層ガラス」（13.6%）や「CEV（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車）」（11.4%）など、施設所有形態を問わず導入可能なものとなっている。

この結果から、町内事業者においては、比較的低コストで導入しやすい機器更新や照明改善などが中心であり、再生可能エネルギーや省エネ設備への本格的な投資は今後の課題である。町としては、導入コストを抑えた事例紹介や補助制度の周知を通じて、段

設備・システム 17 種類

- ①太陽光発電システム
- ②バイオマス発電システム
- ③太陽熱利用システム
- ④バイオマスボイラーシステム
- ⑤コージェネレーションシステム
- ⑥BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）
- ⑦既存建物の ZEB 改修・新たな ZEB 建築
- ⑧断熱材・複層ガラス
- ⑨高効率照明（LED 照明、Hf 型照明等）
- ⑩CEV（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車）
- ⑪高性能ボイラー等の高効率機器（ヒートポンプ）
- ⑫ヒートポンプ給湯器（エコキュート）
- ⑬潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）
- ⑭省エネナビ※6
- ⑮エコアクション 21※7
- ⑯ISO14001※8
- ⑰再生可能エネルギーの電力プランの選択

選択肢 6 種類

導入済み

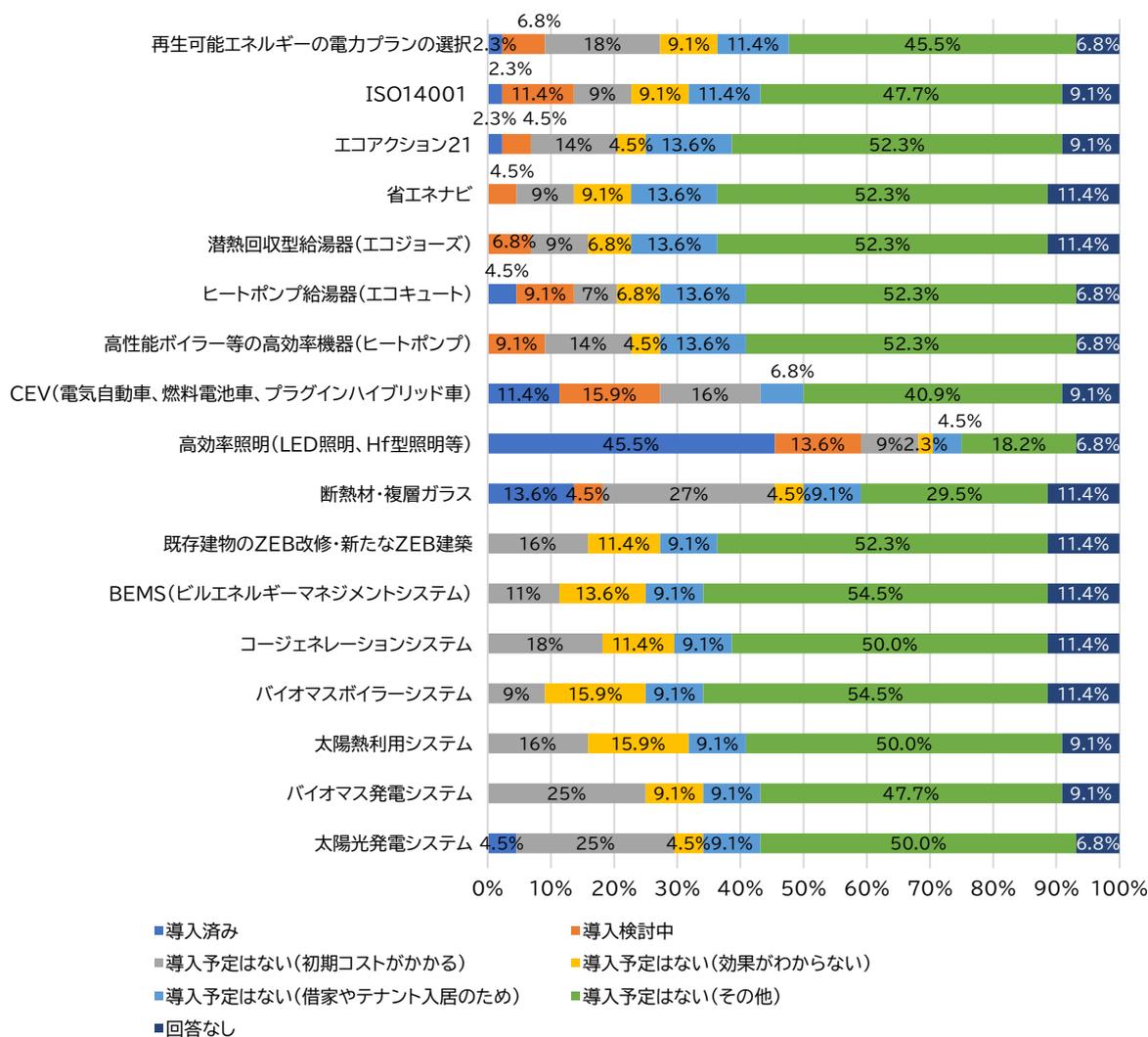
導入検討中

導入予定はない (初期コストがかかる)

導入予定はない (効果がわからない)

導入予定はない (借家やテナント入居のため)

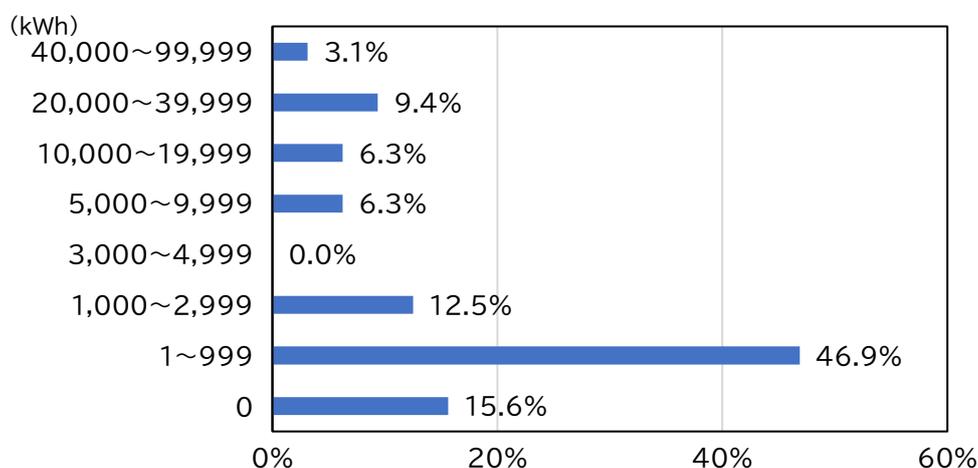
導入予定はない (その他)



**【質問9-1】** 事業所の利用している、1か月あたり（年間の平均値）の電気使用量をご記入ください。 (回答数=32)

事業所における1か月あたりの電気使用量については、使用していない「0 kWh」と回答した事業所が15.6%を占めている。

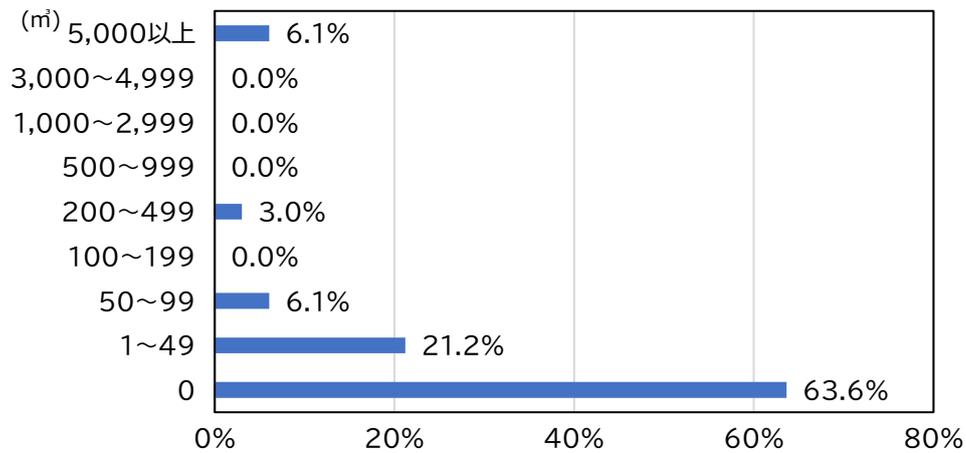
一方で、電気を使用している事業所では「1~999kWh」が46.9%と最も多く、次いで「1,000~2,999kWh」が12.5%となっている。また、一定規模以上の電力を使用する事業所も見られ、「10,000kWh以上」と回答した事業所はあわせて約2割となっている。全体としては、電気使用量が比較的少ない事業所が中心である一方、事業規模に応じた電力使用のばらつきも確認された。



**【質問9-2】** 事業所の利用している、1か月あたり（年間の平均値）のガス使用量をご記入ください。（都市ガス） (回答数=33)

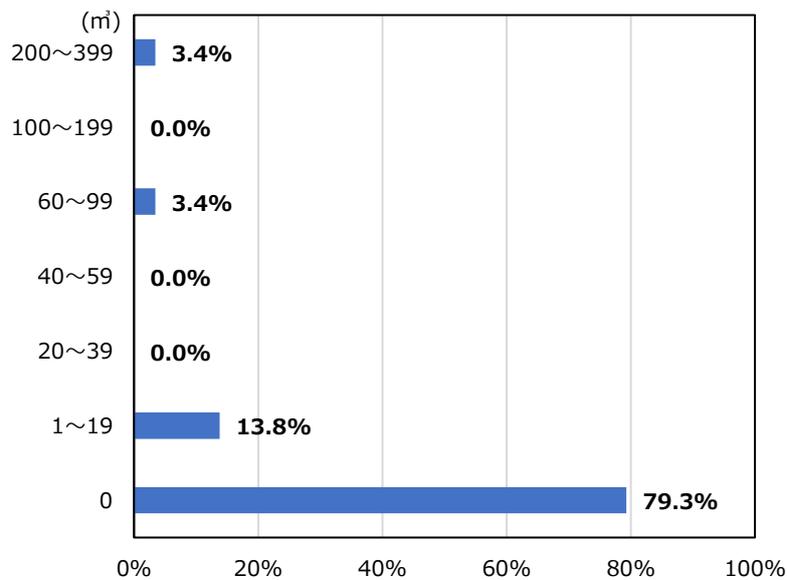
事業所における1か月あたりのガス使用量（都市ガス）については、使用していない「0 m<sup>3</sup>」と回答した事業所が63.6%と最も多く、全体の約6割を占めている。

一方で、都市ガスを使用している事業所では、「1~49 m<sup>3</sup>」が21.2%と比較的多く、少量利用にとどまる事業所が中心となっている。また、「50~99 m<sup>3</sup>」および「5,000 m<sup>3</sup>以上」と回答した事業所もそれぞれ6.1%見られるなど、使用量には一定のばらつきが確認された。全体としては、都市ガスを使用していない、または使用量が少ない事業所が多い状況であることが分かる。



**【質問9-2】** 事業所の利用している、1か月あたり（年間の平均値）のガス使用量をご記入ください。（LP ガス） （回答数=29）

事業所における1か月あたりのガス使用量（LP ガス）については、使用していない「0」と回答した事業所が79.3%と最も多く、全体の約8割を占めている。一方で、LP ガスを使用している事業所では「1~19 m³」が13.8%となっており、使用している場合でも比較的少量にとどまっている事業所が多い。また、「60~99 m³」および「200~399 m³」と回答した事業所もそれぞれ3.4%見られるなど、少数ながら一定量を使用する事業所も存在している。全体としては、回答事業所の大半がLP ガスを利用していない状況であることが分かる。

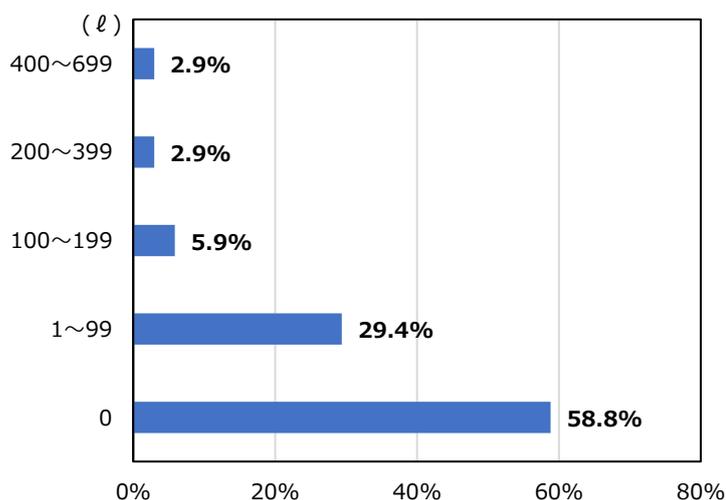


**【質問9-3】** 事業所の利用している、1か月あたり（年間の平均値）の灯油使用量をご記入ください。（回答数=34）

事業所における1か月あたりの灯油使用量については、使用していない「0」と回答した事業所が58.8%と最も多く、全体の約6割を占めている。

一方で、灯油を使用している事業所では「1～99ℓ」と回答した事業所が29.4%と比較的多く、使用している場合でも少量利用にとどまっている事業所が多いことが分かる。また、「100～199ℓ」が5.9%、「200～399ℓ」および「400～699ℓ」がそれぞれ2.9%となっており、少数ではあるものの、一定量の灯油を継続的に使用している事業所も存在している。

全体としては、灯油を使用していない事業所が過半を占める一方、使用している事業所では比較的少量から中程度の利用が中心となっている状況である。



**【質問10】** 貴事業所において、環境に配慮した取組を進める上で課題となっていることは何ですか。（複数回答可）  
（回答数=44）

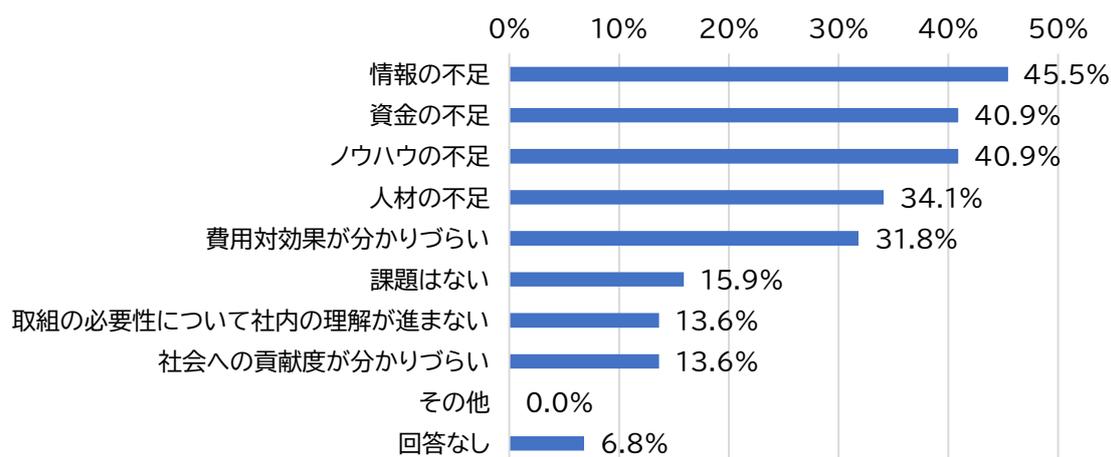
・環境に配慮した取組を進める上での課題としては、「情報の不足」が最も多く45.5%を占めた。次いで「資金の不足」(40.9%)および「ノウハウの不足」(40.9%)が続き、実施に必要な知識や費用面の支援が十分でないことがうかがえる。

この結果から、多くの事業者が環境取組の必要性を認識しながらも、実践に移すための情報・技術・資金面での課題を抱えていることが明らかとなった。

今後は、町として補助制度や支援策の周知に加え、他事業者の取組事例や効果を共有することで、実践のハードルを下げる取組が求められる。

選択肢9種類

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 資金の不足                | 2. 人材の不足        |
| 3. 情報の不足                | 4. ノウハウの不足      |
| 5. 取組の必要性について社内の理解が進まない | 6. 費用対効果が分かりづらい |
| 7. 社会への貢献度が分かりづらい       | 8. 課題はない        |
| 9. その他 ( )              |                 |



**【質問 11】** 貴事業所が知りたい地球温暖化対策に関する情報は何か。

(複数回答可)

(回答数=44)

・知りたい情報として最も多かったのは「事業者向けの支援制度・補助金等の情報」で50.0%を占め、費用面の支援に関する関心が最も高いことが分かった。

次いで「地球温暖化防止のために行動すべき具体的な取組やその効果に関する情報」が45.5%、「国や府・町が行っている取組に関する情報」が38.6%となり、実践的な取組内容や行政の施策に関する情報への需要が高い傾向がみられる。

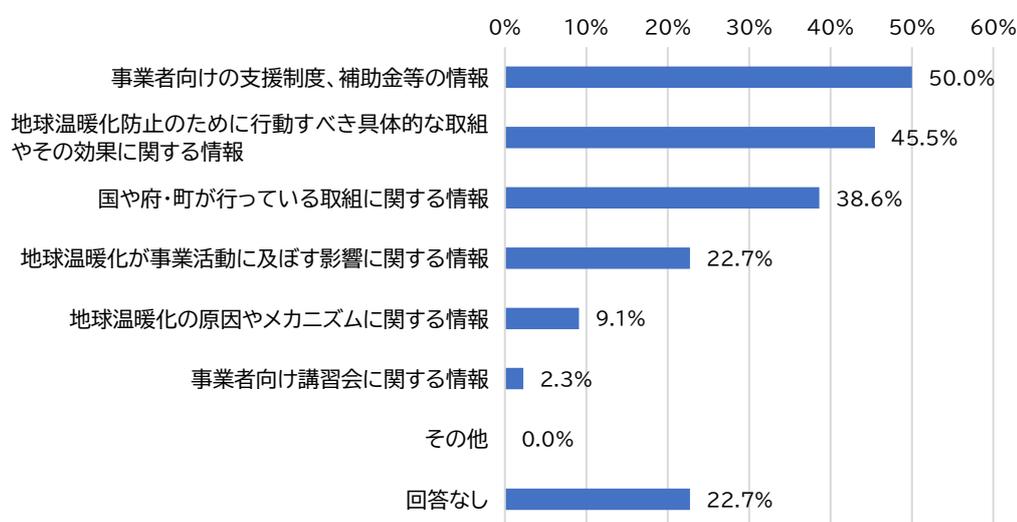
一方で、「地球温暖化の原因やメカニズムに関する情報」(9.1%)や「事業者向け講習会に関する情報」(2.3%)など、基礎的な内容や学習型の情報に対する関心は比較的低かった。

この結果から、多くの事業者が具体的な行動に移す際の支援制度や実践例を求めており、情報提供においても“実践につながる内容”が重視されていることがうかがえる。

今後は、補助金や支援制度の案内に加え、他事業者の取組事例や効果を分かりやすく発信することで、町内での取組拡大と理解促進を図ることが望まれる。

選択肢7種類

1. 国や府・町が行っている取組に関する情報
2. 地球温暖化防止のために行動すべき具体的な取組やその効果に関する情報
3. 地球温暖化が事業活動に及ぼす影響に関する情報
4. 地球温暖化の原因やメカニズムに関する情報
5. 事業者向け講習会に関する情報
6. 事業者向けの支援制度、補助金等の情報
7. その他（ ）



**【質問 12】** 環境に配慮した取組を進めるうえで、町に行ってほしい取組は何ですか。  
(該当するものを3つまで選択)

(回答数=44)

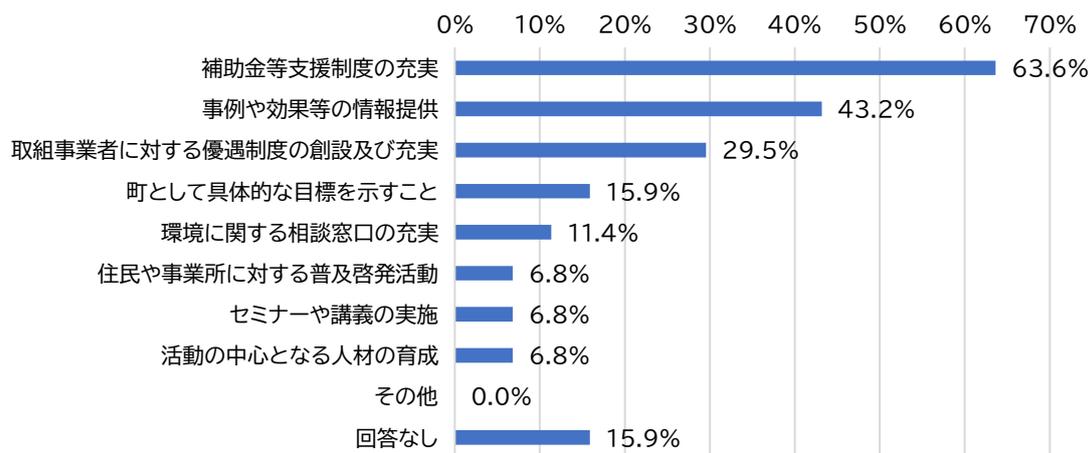
・町に対して望む取組として最も多かったのは、「補助金等支援制度の充実」で63.6%を占めた。次いで「事例や効果等の情報提供」(43.2%)、「取組事業者に対する優遇制度の創設及び充実」(29.5%)が続き、経済的支援とともに、具体的な実践事例や効果を知りたいというニーズが高いことが分かる。

これらの結果から、町内事業者は補助制度などの直接的支援に加え、実践に役立つ具体的な情報提供を求めていることが明らかとなった。

今後は、事業者が取組を進めやすくするための支援制度の拡充とともに、成功事例の共有や相談体制の整備など、実行支援型の施策を充実させることが重要である。

選択肢9種類

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 補助金等支援制度の充実      | 2. 取組事業者に対する優遇制度の創設及び充実 |
| 3. 事例や効果等の情報提供      | 4. 町として具体的な目標を示すこと      |
| 5. 住民や事業所に対する普及啓発活動 | 6. セミナーや講義の実施           |
| 7. 活動の中心となる人材の育成    | 8. 環境に関する相談窓口の充実        |
| 9. その他（ ）           |                         |



## 4 事業者ヒアリング結果

### A 社

#### 1. 事業概要・生産体制

当該事業者は、受注生産に近い形態で製造を行っており、生産工程や製品仕様が案件ごとに大きく異なる。このため、現時点では生産工程の標準化や効率化には十分に組み立てていない状況にある。

本社では脱炭素に関する取組が進められている一方で、忠岡町内の工場においては、脱炭素に関する取組は限定的であるとの認識が示された。

#### 2. エネルギー使用状況と課題

電力会社は関西電力を利用しており、新電力への切替については、価格面の理由から現時点では検討していないとのことである。ただし、コスト面でのメリットが明確であれば、新電力の利用については前向きに検討したい意向が示された。

また、冷却設備に多くの電力を使用しており、特に夏季に電力使用量が増加する傾向がある点が課題として挙げられた。

#### 3. 省エネルギー・再生可能エネルギーへの取組状況

省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備については、現時点で導入実績はない。今後の取組としては、来年度に LED 照明への更新を予定している。

再生可能エネルギーについては、他工場で新電力を使用している事例はあるものの、忠岡工場では特に行っていない。

#### 4. 環境配慮・資源循環の取組

廃棄物については、サーマルリサイクルや分別回収に取り組んでおり、自社のみならず、他社がリサイクルしやすいよう配慮した分別を行っている点が特徴的である。

これらの取組は、既に一定程度定着している環境配慮活動といえる。

#### 5. 脱炭素に関する意識・支援ニーズ

温室効果ガス排出量の算定は既に実施しており、カーボンフットプリントについては、一般的な算定の考え方や進め方について情報提供を行った。

また、GX アドバイザー制度については強い関心が示されており、補助金等の支援があれば、省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備といったハード面の取組も進めやすくなるとの意見があった。

さらに、災害時の対応として、災害協定の締結等についても前向きな姿勢が示された。

## 6. 今後取り組みたい内容と課題

今後取り組んでみたい内容としては、蒸気ドレン等の高温排熱の回収・再利用や、太陽光発電および蓄電池を導入し、自社電力として活用することが挙げられた。

一方で、これらの取組を進める上での課題として、初期費用の大きさや、設備設置に必要なスペースの確保、投資に対するコストメリットの不透明さが指摘された。

## B社

### 1. 事業概要・取引構造

当該事業者は、床材を製造する製造業であり、取引先は大手ハウスメーカーが中心となっている。サプライチェーン全体での環境配慮が求められる業態であることから、脱炭素や環境対応に対する意識は比較的高い状況にある。

### 2. 排出量管理・目標設定

温室効果ガス排出量の算定は既に実施しており、排出量の把握・管理が行われている。脱炭素に関する目標としては、2030年度に50%削減、2050年度に実質100%削減を目指す方針が示されており、長期的な視点での目標設定がなされている。

### 3. 省エネルギーへの取組状況

工場全体としてEMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギー使用状況の見える化と省エネルギー対策を進めている。省エネルギー法における年平均1%削減の考え方を意識し、継続的な改善に取り組んでいる点が特徴である。

また、LED照明については既にほぼ全て導入済みであり、高効率設備への更新が一定程度進んでいる。

### 4. 再生可能エネルギーへの考え方

建物構造や耐荷重の制約から、屋根置き太陽光発電の導入については構造的に難しいとの認識が示された。

一方で、次世代太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）については関心を示しており、今後の技術動向次第では導入の可能性があると考えられる。

電力調達については、今後、再生可能エネルギー電力の利用を進めていく意向が示されている。

新電力についても、価格面での条件が整えば検討対象とする考えであり、コストが導入判断の重要な要素となっている。

#### 5. 環境配慮・人材育成への関与

これまでに環境学習等への協力実績があり、今後も地域における環境学習や啓発活動について、可能な範囲で協力できるとの意向が示された。

製造業としての知見を活かした環境教育への関与が期待される。

#### C社

忠岡町内に所在する繊維工業の製造事業者について、当日は先方の都合によりヒアリングを実施できなかったため、事前に依頼していたヒアリングシートの提出をもって情報提供を受けた。

提出内容によれば、製造品出荷額（製造業のみ）は 137,000 千円（10月の加工賃）である。忠岡町内での 10月のエネルギー使用量は、電気 56,185kWh、都市ガス 158,397m<sup>3</sup> である。

## 環境に関するアンケート調査ご協力のお願い

忠岡町 生活環境課

本町では、地球温暖化対策をはじめとした環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境施策の基本方針となる計画の策定を予定しています。

計画策定にあたり、皆様の意見を反映させるため、アンケート調査を実施いたしますので、回答にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

**調査回答期限：令和7年10月15日（水）まで**

### <回答方法とデータの取り扱い等について>

- 本アンケートは、次のどちらか1つの方法を選択して回答してください。
  - ① QRコードまたはURLよりアクセスし、パソコンやスマートフォンからオンライン回答する。
  - ② 調査票に直接記入し郵送する。
- 本調査は無記名で行います。返信用封筒についてもお名前・ご住所などの記載は不要です。
- 回答は忠岡町における環境関連事業の推進に限り利用いたします。
- 結果の公開に際しては、統計処理を介することで個人情報が一切特定されないよう対応いたします。
- 本アンケートの実施にあたり、アンケート専用 Web サイト及び回答データの管理は、株式会社エスプールに委託しています。
- 本アンケート調査用紙は、忠岡町にお住まいの18歳以上の方から無作為に抽出した1,250名を対象に、ご協力をお願いするものです。

<↓オンライン回答ページ↓>



URL : <https://x.gd/kCXNO>

### 本調査についてのお問い合わせ及び返送先

忠岡町役場 生活環境課

住 所：〒595-0805 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東 1-34-1

電 話：0725-22-1122（代表）



**質問3** あなたは環境問題についてどのように考えますか。あなたの考えに最も近い番号1つに「O」をつけてください。

1. 自分ができることは積極的に取り組みたい
2. 自分ができる範囲で取り組みたい
3. 自分にもできることをしたいが、何に取るべきかわからない
4. 自分一人の取組では何も変わらないと思う
5. 行政が取るべき問題であると思う
6. その他 ( )

**質問4** 身近な地域で、ここ数年間でどのような気候の変化による影響が生じていると思いますか。該当する全ての番号に「O」をつけてください。(複数回答可)

1. 熱中症など暑さによる健康への被害が増えている
2. デング熱など蚊が媒介する感染症が広がっている
3. 短時間に降る強い雨により浸水被害が増えている
4. 短時間に降る強い雨により土砂災害が増えている
5. 雨が降らない日が多くなり、水不足といった渇水が増えている
6. 近くで収穫される農作物の種類が変化している
7. 近くで収穫される農作物の品質が低下している
8. 桜の開花が早くなったり、紅葉が遅くなったりするなどの変化が生じている
9. 身近なところの生き物の種類が変化している
10. 特になし

■ご自身のお取組状況について、お伺いします■

**質問5** あなたは次の環境に配慮した取組を行っていますか。

**記入方法**

①～④の各項目について、該当する番号(1～3)1つに「O」をつけてください。

	取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない
① 節電や節水など省エネルギーに努める	1	2	3
② エアコン使用時の室温は夏季 28℃、冬季 20℃を目安にする	1	2	3
③ エアコンのフィルターを定期的に掃除する	1	2	3
④ 買い物時にエコバッグを使用する	1	2	3

⑤ 外出時にはできるだけ公共交通機関を利用する	1	2	3
⑥ 近距離の移動はなるべく歩きや自転車を使う	1	2	3
⑦ エコドライブを心がけている	1	2	3
⑧ ごみの分別を心がけている	1	2	3
⑨ 食品ロスの削減を心がけている	1	2	3
⑩ 騒音や振動を出さないように近所へ配慮して生活する	1	2	3
⑪ サステナブル※ファッションや製品を取り入れて使う	1	2	3
⑫ テレワークを取り入れている	1	2	3
⑬ ごみやたばこの吸い殻をポイ捨てしない	1	2	3
⑭ 生物多様性について学び、配慮する（外来生物の放出をしない等）	1	2	3
⑮ 環境に関するイベントや活動に参加する	1	2	3

※：「持続可能な」の意。環境への負荷を減らし、資源や社会が将来にわたって維持できるよう配慮した製品やサービスを指す。ファッションや製品においては、リサイクル素材の活用や環境負荷の小さい製造方法などを意味する。

質問6 あなたは次のような再生可能エネルギー・省エネルギー設備等を導入していますか。						
記入方法 ①～⑨の各項目について、該当する番号（1～6） 1つに「○」をつけてください。	導入済み	導入検討中	（初期コストがかかる） 導入予定はない	（効果・メリットがわからない） 導入予定はない	（借家や集合住宅のため） 導入予定はない	（その他） 導入予定はない
	① 太陽光発電システム	1	2	3	4	5
② 太陽熱システム	1	2	3	4	5	6
③ 蓄電池	1	2	3	4	5	6
④ 再生可能エネルギー由来の電力プランの選択	1	2	3	4	5	6
⑤ 家庭用燃料電池（エネファーム）※1	1	2	3	4	5	6
⑥ ヒートポンプ式給湯器（エコキュート）※2	1	2	3	4	5	6
⑦ 潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）※3	1	2	3	4	5	6
⑧ 高断熱・高气密の省エネ住宅※4	1	2	3	4	5	6
⑨ LED照明	1	2	3	4	5	6

⑩ 省エネルギー家電	1	2	3	4	5	6
⑪ CEV（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車）	1	2	3	4	5	6

※1：ガスから取り出した水素と空気中の酸素により電気をつくり、その際に発生する熱も給湯に利用することでエネルギーの有効利用を図るもの。

※2：大気の熱を利用してお湯を沸かす、地球環境への負荷をおさえた自然冷媒（CO<sub>2</sub>）ヒートポンプ給湯機。

※3：使わずに捨てられていた排気熱を有効に活用して、少ないガス量で効率よくお湯を沸かす省エネ性の高い給湯器。

※4：外気の影響を受けづらく、室内の温度を一定に保つ省エネルギーな住宅。

**追加質問** ※質問6の ①太陽光発電システム、②太陽熱システムで「1.導入済み」と回答した方のみ※ 以下の項目において、あなたが自家消費用に設置しているシステムの容量または年間の利用量をご記入ください。

① 太陽光発電システム

・設備容量： \_\_\_\_\_ kW  
（年間利用量： \_\_\_\_\_ kWh）

② 太陽熱システム

・太陽熱利用量： \_\_\_\_\_ MJ

**質問7-1** あなたの、1か月あたり（年間の平均値）の電気使用量をご記入ください。

なお、使用していない場合は「0」とご記入ください。

電気： \_\_\_\_\_ kWh/月

**質問7-2** あなたの、1か月あたり（年間の平均値）のガス使用量をご記入ください。

なお、使用していない場合は「0」とご記入ください。

※都市ガスをご利用の方はこちらへご記入ください。

都市ガス： \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/月

※プロパン(LP)ガスをご利用の方はこちらへご記入ください。

プロパン(LP)ガス： \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/月

**質問7-3** あなたの、1か月あたり（年間の平均値）の灯油使用量をご記入ください。

なお、使用していない場合は「0」とご記入ください。

灯油： \_\_\_\_\_ ℓ/月

■忠岡町の環境について、お伺いします■

質問8 あなたは忠岡町の環境に関する各項目について、日ごろどのように感じていますか。								
記入方法 ①～⑯の各項目の満足度と重要度について、該当する番号（1～4）1つにそれぞれ「○」をつけてください。	【満足度】				【重要度】			
	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	重要	どちらかといえは重要	どちらかといえは重要でない	重要でない
① 空気が汚れておらず、きれいである	4	3	2	1	4	3	2	1
② 川などの水がきれいである	4	3	2	1	4	3	2	1
③ 家の周辺が静かである	4	3	2	1	4	3	2	1
④ 公園や街路樹など緑が豊かである	4	3	2	1	4	3	2	1
⑤ 野生の動植物などを身近に感じる	4	3	2	1	4	3	2	1
⑥ ポイ捨てやごみの散乱がなく、きれいである	4	3	2	1	4	3	2	1
⑦ 徒歩や自転車で快適に過ごせる	4	3	2	1	4	3	2	1
⑧ 公共交通機関が充実している	4	3	2	1	4	3	2	1
⑨ ごみの分別やリサイクルなどの活動が盛んである	4	3	2	1	4	3	2	1
⑩ 食品ロス削減のための協力の呼びかけがある	4	3	2	1	4	3	2	1
⑪ 公共施設の省エネルギー性能の向上	4	3	2	1	4	3	2	1
⑫ 公共施設への再生可能エネルギーの導入	4	3	2	1	4	3	2	1
⑬ 再生可能エネルギーの導入に関する補助制度や情報提供	4	3	2	1	4	3	2	1
⑭ 自然エネルギーがまちで使われている	4	3	2	1	4	3	2	1
⑮ 暑さや大雨（気候変動）の対策が十分である	4	3	2	1	4	3	2	1
⑯ 環境について学ぶ機会がある	4	3	2	1	4	3	2	1

⑰ 環境イベントが充実している	4	3	2	1	4	3	2	1
⑱ 環境に関する情報が充実している	4	3	2	1	4	3	2	1

**質問9** 忠岡町の環境をより良くするために、町が重点的に取り組むべき環境対策はどれだと思いますか。次の(A)、(B)、(C)、(D)の各分野の中から一つずつ選んで番号に「○」をつけてください。

(A) エネルギー・資源循環

1. 再生可能エネルギーの導入を促進する(太陽光など)
2. 省エネ家電・省エネ住宅の導入を促進する
3. リサイクル・再使用など、資源の有効活用を進める
4. ごみ分別や収集体制の充実を図る
5. 電気自動車など環境に配慮した自動車の普及を進める
6. 公共交通機関の利用を促進する
7. その他( )

(B) 自然環境

1. 緑地の保全や緑化の取組を推進する
2. 公園の新設や整備を進める
3. 生物多様性(動植物の多様性)の保全・再生を進める
4. 外来生物への対策を進める
5. その他( )

(C) 生活環境

1. 路上喫煙対策を進める
2. ポイ捨て防止対策など、まちの美化を進める
3. 事業活動に伴い発生する騒音・振動・悪臭等への指導を行う
4. 河川や大気などの汚染状況を継続的に監視・評価する
5. ヒートアイランド現象<sup>\*</sup>への対策を推進する
6. その他( )

(D) 環境教育・情報提供

1. 環境学習の機会を充実させる(教材・講座など)
2. 地域住民と連携した環境活動(清掃・保全など)を推進する
3. 環境に関する情報発信や広報活動を充実させる
4. 環境保全に関する条例・ルールを整備・強化する
5. その他( )

※：都市化が進むにつれて、アスファルトやコンクリートで覆われた地面が増え、緑地が減少し、人工的な排熱が増えることが主な原因となり、都市部の気温が周辺の郊外よりも高くなる現象。

**質問 10** 地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減するため、町に行ってほしい取組は何ですか。**該当するものを“3つまで” 選び、番号に「〇」をつけてください。**

1. 太陽光発電、蓄電池、省エネ家電・設備等に関する情報提供の充実
2. 太陽光発電、蓄電池、省エネ設備導入のための補助金等支援制度の充実
3. 子どもたちに対する環境学習の推進
4. 住民に対して環境保全意識の啓発活動を行う
5. ごみ量の削減、リサイクルの推進
6. 公共施設等含む町内への再生可能エネルギー導入
7. 緑化推進等、二酸化炭素を吸収する取組の推進
8. 公共交通機関の利便性向上
9. 他自治体との連携による地球温暖化対策の取組
10. その他（）

**質問 11** 地球温暖化に伴う影響（気候変動等）に対処するため、町が優先的に進めていくべき取組はどのような分野だと思いますか。**該当するものを“3つまで” 選び、番号に「〇」をつけてください。**

1. 農業・水産業（食糧の供給）
2. 水環境・水資源（湧水・水質保全）
3. 自然生態系（生物多様性の確保）
4. 自然災害（洪水・土砂崩れ）
5. 健康（熱中症・感染症）
6. 産業・経済活動（技術開発・観光産業）
7. 町民生活全般（家屋・交通・ヒートアイランド）
8. その他（）

**質問 12** あなたは将来の忠岡町の環境がどのような状態であることを望みますか。「忠岡町の環境の理想像」を一言で表してください。

質問は以上となります。

ご記入後は、同封の封筒にてご返送ください。

ご協力ありがとうございました。

～あなたの家庭から排出される二酸化炭素の量を見てみませんか？～

以下の二次元バーコード、URL からアクセスし、アカウント登録後、エネルギー使用量を入力するだけで、家庭で排出している「二酸化炭素の量」を算定することができます。



<https://service.minnanosantei.jp/landing>

※業務受託者のシステムへアクセスします。

ちなみに・・・

世帯あたりの年間 CO<sub>2</sub>排出量の平均は 2.52 トン！！

あなたの家庭からの排出量を全国平均と比べてみましょう！

## 環境に関するアンケート調査ご協力のお願い

忠岡町 生活環境課

本町では、地球温暖化対策をはじめとした環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境施策の基本方針となる計画の策定を予定しています。

計画策定にあたり、皆様の意見を反映させるため、アンケート調査を実施いたしますので、回答にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

**調査回答期限：令和7年10月15日（水）まで**

### <回答方法とデータの取り扱い等について>

- 本アンケートは、次のどちらか1つの方法を選択して回答してください。
  - ① QRコードまたはURLよりアクセスし、パソコンやスマートフォンからオンライン回答する。
  - ② 調査票に直接記入し郵送する。
- 本アンケート調査は、忠岡町の事業者の皆様にご協力をお願いするものです。

### <個人情報とデータの取り扱いについて>

- 回答は忠岡町における環境関連事業の推進に限り利用いたします。
- 忠岡町では、本アンケートの実施に必要な範囲で、忠岡町の事業者及び担当者の情報を取得します。取得した情報は利用目的の範囲内で適切に取り扱います。
- 本アンケートの実施にあたり、アンケート専用Webサイト及び回答データの管理は、株式会社エスプールに委託しています。結果の公表に際しては、統計処理によって、個人情報が一切特定されないよう対応いたします。

<↓オンライン回答ページ↓>



URL : <https://x.gd/btFF7>

### 本調査についてのお問い合わせ及び返送先

忠岡町役場 生活環境課

住 所：〒595-0805 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東 1-34-1

電 話：0725-22-1122（代表）



**質問3** 事業活動を行うにあたり、環境に及ぼす影響は何だと思えますか。該当する全ての番号に「○」をつけてください。(複数回答可)

- |           |                 |               |         |       |
|-----------|-----------------|---------------|---------|-------|
| 1. ごみの増加  | 2. 温室効果ガス排出量の増加 | 3. ヒートアイランド現象 |         |       |
| 4. 大気汚染   | 5. 騒音           | 6. 振動         | 7. 水質汚濁 | 8. 悪臭 |
| 9. 土壌汚染   | 10. 特になし        |               |         |       |
| 11. その他 ( |                 |               |         | )     |

**質問4** 近年の地球温暖化による気候変動について、貴事業所に影響を与える可能性の高い不安要素はありますか。該当するものを“3つまで”選び、番号に「○」をつけてください。

1. 強雨や台風の大型化による水害や土砂災害の増加
2. 大規模災害によるインフラ・ライフラインへの影響
3. 猛暑日増加による熱中症患者数の増加
4. 農作物の生育不良や収穫量の減少
5. 植物の分布域の変化
6. 無降雨・少雨による渇水
7. 野生鳥獣の増加による被害
8. 夏季の気温上昇などによる電力供給ピークの先鋭化
9. 特になし

**質問5** 貴事業所では、温室効果ガス排出量の把握をしていますか。該当する番号1つに「○」をつけてください。

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 把握している (概算含む) | 2. 把握していない |
|------------------|------------|

**追加質問** ※質問5で「1. 把握している (概算含む)」と回答した方のみ※ 直近の排出量と調査年または年度をご記入ください。

排出量： \_\_\_\_\_ t-CO<sub>2</sub>/年 (西暦 \_\_\_\_\_ 年・年度 実績)

**質問6** 貴事業所では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。該当する番号1つに「○」をつけてください。

- |          |             |             |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 定めている | 2. 現在検討中である | 3. 定める予定はない |
| 4. その他 ( |             | )           |

**追加質問** ※質問6で「1. 定めている」と回答した方のみ※ 目標や方針をご記入ください。

例：2030年までに2013年度比50%削減

■ 貴事業所の環境への取組について、現状と課題をお伺いします ■

質問7 貴事業所で実施している、あるいは今後実施する予定の環境に配慮した取組はありますか。					
記入方法 ①～⑯の各項目について、該当する番号（1～5）1つに「○」をつけてください。 （テナントとして入居している場合は、専有部内での実施状況についてご回答ください。）	実践済み	今後取組みたい	取組む予定はない （コストがかかる）	取組む予定はない （効果がわからない）	取組む予定はない （その他）
① 環境に関する経営方針の制定と公表	1	2	3	4	5
② 環境マネジメントシステム*の構築と取組実施	1	2	3	4	5
③ 社員への環境教育	1	2	3	4	5
④ 働き方改革を通じての環境配慮（テレワーク、リモート会議、ノーマイカー・ノー残業デーなど）	1	2	3	4	5
⑤ 照明や水道の使用量削減	1	2	3	4	5
⑥ 「クールビズ」「ウォームビズ」の奨励	1	2	3	4	5
⑦ 冷暖房設定温度の調節 （室温は冷房時 28℃、暖房時 20℃）	1	2	3	4	5
⑧ コピー機等 OA 機器の省エネモード設定	1	2	3	4	5
⑨ 敷地内の緑化や屋上緑化などの建物の断熱・環境改善	1	2	3	4	5
⑩ 森林保全活動や国産木材の利活用	1	2	3	4	5
⑪ エコドライブの実践・奨励	1	2	3	4	5
⑫ ごみの減量や分別、リサイクルの推進	1	2	3	4	5
⑬ 地域と連携した環境保全活動への参加	1	2	3	4	5
⑭ 生物多様性の保全への配慮	1	2	3	4	5
⑮ 大気・土壌汚染、水質汚濁等の公害防止	1	2	3	4	5
⑯ 近隣住民の生活環境への配慮 （騒音・振動・悪臭対策等）	1	2	3	4	5

※：組織や事業者が環境に関する方針や目標を自ら設定し、その達成に向けて取り組むための体制・手続き等の仕組み。

■ 貴事業所の省エネルギー・再生可能エネルギー等についてお伺いします ■

質問8 省エネルギーや再生可能エネルギーに係る設備、システム等を導入していますか。						
記入方法 ①～⑰の各項目について、該当する番号（1～6） 1つに「○」をつけてください。	導入済み	導入検討中	（初期コストがかかる） 導入予定はない	（効果がわからない） 導入予定はない	（借家やテナント入居のため） 導入予定はない	（その他） 導入予定はない
	① 太陽光発電システム	1	2	3	4	5
② バイオマス発電システム	1	2	3	4	5	6
③ 太陽熱利用システム	1	2	3	4	5	6
④ バイオマスボイラーシステム	1	2	3	4	5	6
⑤ コージェネレーションシステム*1	1	2	3	4	5	6
⑥ BEMS （ビルエネルギーマネジメントシステム）*2	1	2	3	4	5	6
⑦ 既存建物の ZEB*3改修・新たな ZEB 建築	1	2	3	4	5	6
⑧ 断熱材・複層ガラス	1	2	3	4	5	6
⑨ 高効率照明（LED 照明、Hf 型照明等）	1	2	3	4	5	6
⑩ CEV（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車）	1	2	3	4	5	6
⑪ 高性能ボイラー等の高効率機器 （ヒートポンプ）	1	2	3	4	5	6
⑫ ヒートポンプ給湯器（エコキュート）*4	1	2	3	4	5	6
⑬ 潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）*5	1	2	3	4	5	6
⑭ 省エネナビ*6	1	2	3	4	5	6
⑮ エコアクション 21*7	1	2	3	4	5	6
⑯ ISO14001*8	1	2	3	4	5	6
⑰ 再生可能エネルギーの電力プランの選択	1	2	3	4	5	6

※1：ガス等を燃料として電力を生み出すとともに、その際の排熱も利用して給湯や冷暖房等に利用するシステム。

※2：室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビルを管理するシステム。

※3：快適な室内環境を保ちながら、省エネルギーと創エネルギーにより建物において消費するエネルギーの合計を正味ゼロにすることを目指した建物。

※4：大気中の熱を利用してお湯を沸かす、地球環境への負荷をおさえた自然冷媒（CO<sub>2</sub>）ヒートポンプ給湯機。

※5：使わずに捨てられていた排気熱を有効に活用して、少ないガス量で効率よくお湯を沸かす省エネ性の高い給湯器。

※6：現在のエネルギー消費量を金額で知らせ、利用者自身が決めた省エネ目標を超えると通知をすることで、利用者の省エネを促す機器。

※7：環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム。

※8：環境マネジメントシステムに関する国際規格であり、自社の活動による環境への負荷を最小限にするように定めた仕様書。  
取得した組織や企業は、地球環境へ配慮した組織・企業活動を行っているとい国際的に認められる。

<b>追加質問</b> ※質問8の ①太陽光発電システム、②バイオマス発電システム、③太陽熱利用システム、④バイオマスボイラーシステムで、「1. 導入済み」と回答した方のみ※ それぞれ、自家消費用に設置しているシステムの容量または年間の利用量をご記入ください。	
① 太陽光発電システム	・設備容量：_____ kW (年間利用量：_____ kWh)
② バイオマス発電システム	・設備容量：_____ kW (年間利用量：_____ kWh)
③ 太陽熱利用システム	・太陽熱利用量：_____ MJ
④ バイオマスボイラーシステム	・バイオマス熱利用量：_____ MJ

<b>質問 9-1</b> 貴事業所の利用している、1か月あたり（年間の平均値）の <b>電気使用量</b> をご記入ください。 なお、 <u>使用していない場合は「0」とご記入ください。</u>
電気： _____ kWh/月
<b>質問 9-2</b> 貴事業所の利用している、1か月あたり（年間の平均値）の <b>ガス使用量</b> をご記入ください。 なお、 <u>使用していない場合は「0」とご記入ください。</u> ※都市ガスをご利用の方はこちらへご記入ください。
都市ガス： _____ m <sup>3</sup> /月
※プロパン(LP)ガスをご利用の方はこちらへご記入ください。 プロパン(LP)ガス： _____ m <sup>3</sup> /月
<b>質問 9-3</b> 貴事業所の利用している、1か月あたり（年間の平均値）の <b>灯油使用量</b> をご記入ください。 なお、 <u>使用していない場合は「0」とご記入ください。</u>
灯油： _____ ℓ/月

**質問 9-4** その他にも貴事業所にて利用している燃料（ガソリン以外）がありましたら、1か月あたり（年間の平均値）の使用量をご記入ください。

なお、その他に使用している燃料がない場合は、特に回答する必要はございません。

その他（燃料種類：\_\_\_\_\_）：\_\_\_\_\_（単位：\_\_\_\_\_）/月

**質問 10** 貴事業所において、環境に配慮した取組を進める上で課題となっていることは何ですか。該当するもの全ての番号に「○」をつけてください。（複数回答可）

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 資金の不足                | 2. 人材の不足        |
| 3. 情報の不足                | 4. ノウハウの不足      |
| 5. 取組の必要性について社内の理解が進まない | 6. 費用対効果が分かりづらい |
| 7. 社会への貢献度が分かりづらい       | 8. 課題はない        |
| 9. その他（_____）           | _____）          |

### ■ 町へのご要望をお伺いします ■

**質問 11** 貴事業所が知りたい地球温暖化対策に関する情報は何か。該当する全ての番号に「○」をつけてください。（複数回答可）

1. 国や府・町が行っている取組に関する情報
2. 地球温暖化防止のために行動すべき具体的な取組やその効果に関する情報
3. 地球温暖化が事業活動に及ぼす影響に関する情報
4. 地球温暖化の原因やメカニズムに関する情報
5. 事業者向け講習会に関する情報
6. 事業者向けの支援制度、補助金等の情報
7. その他（\_\_\_\_\_）

**質問 12** 環境に配慮した取組を進めるうえで、町に行ってほしい取組は何か。該当するものを“3つまで”選び、番号に「○」をつけてください。

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 補助金等支援制度の充実      | 2. 取組事業者に対する優遇制度の創設及び充実 |
| 3. 事例や効果等の情報提供      | 4. 町として具体的な目標を示すこと      |
| 5. 住民や事業所に対する普及啓発活動 | 6. セミナーや講義の実施           |
| 7. 活動の中心となる人材の育成    | 8. 環境に関する相談窓口の充実        |
| 9. その他（_____）       | _____）                  |

質問は以上となります。

ご記入後は、同封の封筒にてご返送ください。

ご協力ありがとうございました。

～あなたの事業所から排出される二酸化炭素排出量を見ませんか？～

以下の二次元バーコード・URL からアクセスし、アカウント登録後、エネルギー使用量を入力するだけで、自社から排出される「二酸化炭素排出量」を算定することができます。

(TCFD において開示すべきとされる自社の二酸化炭素排出量「Scope 1・2」の算定が可能)



<https://service.minnanosantei.jp/landing>

※業務受託者のシステムへアクセスします。

以上

